

特定非営利活動法人
とよなか市民環境会議アジェンダ 21
2007 年度（平成 19 年度）総会
議 案 書

と き 2007 年 6 月 20 日（水）15 時 30 分より
ところ 豊中市立市民会館 大集会室

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21
2007 年度（平成 19 年度）総会

次 第

- 1．開会
- 2．理事長挨拶 理事長 新開悦子
- 3．来賓挨拶 豊中市長 浅利敬一郎様
 豊中市議会議長 岡本清治様

- 4．議長の選任
- 5．議事録署名人の選任
- 6．総会定足数の確認
- 7．議案
 - 事業報告
 - 第 1 号議案 2006 年度（平成 18 年度）事業報告について
 - 第 2 号議案 同収支決算報告について
 - 第 3 号議案 同監査報告について
 - 事業計画
 - 第 4 号議案 2007 年度（平成 19 年度）事業計画について
 - 第 5 号議案 同収支予算書について
- 8．議長の解任
- 9．閉会

議案書目次

2006 年度（平成 18 年度）事業報告	1
2006 年度（平成 18 年度）収支計算書	36
2006 年度（平成 18 年度）貸借対照表	37
2006 年度（平成 18 年度）財産目録	38
2006 年度（平成 18 年度）監査報告	39
2007 年度（平成 19 年度）事業計画（案）	40
2007 年度（平成 19 年度）収支予算書（案）	50
定款	51

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2006 年度（平成 18 年度）事業報告

1. 全体のふりかえり

2006 年度は、『パートナーシップの関係を強化し、その輪を広げていく』という全体方針を掲げて活動を進めました。具体的には、活動や行事への参加者を広げることや、今までの協力関係を持つ団体等との連携を深めるほか、環境以外の分野の人や団体との連携など新たな関係づくりにつながることを目指しました。

全体事業では、とよなか市民環境展 2006 の参加者数が昨年度より大きく増えました。これは、豊中市、豊中市教育委員会と共催し、環境省の EST モデル事業とも連携した環境学習への参加を学校に働きかけたことや、飲食コーナーや不用品の再利用を促すリユースコーナー、環境分野に限らない市民活動の発表の場を設けるなど新たな取り組みを行うことにより、出展する団体も来場者も多様になったことが大きな要因だと考えられます。その他、大阪大学などと連携した社会教育活性化推進委員会事業、大阪府や地域の学校・園と連携した服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業、市内の多分野で進める「ESD とよなか」事業などを継続し、幅広い組織や団体との関係を深めました。また各部会・プロジェクトでは、当法人がお手伝いできる環境学習メニューを広く配布したことにより、様々な場所や団体へ出向く機会が増えました。今後ともこのような視点で取り組みを広げるとともに、そのためには PR や事業実施体制の強化が必要になると考えられます。

また、「豊中アジェンダ 21」の改定で、PDCA での進行管理が記載されましたが、豊中市の環境報告書が改定されたことに合わせ、その方法の検討を始めました。さらに、とよなか市民環境会議が発足して 10 年がたつことから、この 10 年のあゆみを振り返る取り組みも始めました。

2. 全体活動

(1) NPO 法人運営

ア 会員の状況

2007 年 3 月 31 日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員	賛助会員	合計
個人	130 人	7 人	137 人
団体	41 団体	3 団体	44 団体

2002 年 6 月に「豊中アジェンダ 21 推進会」として設立して以降の年度ごとの会員数は以下の通りです。毎年わずかずつの増加となっていました。2006 年度はわずかですが減少しています。

	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度
個人	110 人	115 人	121 人	139 人	137 人
団体	31 団体	38 団体	41 団体	44 団体	44 団体

イ 総会の開催

2006 年度の通常総会を以下の通り開催し、すべての議案が提案どおり承認されました。

当日は NPO 法人総会に先立ち、「次世代からの預かり物 持続可能なまち・とよなか へ向けて」と題して、小川雅由さん（NPO 法人こども環境活動支援協会）による講演会と、とよなか市民環境会議の総会が行われました。

日 時 2006年6月21日(水)15時20分～16時20分
 場 所 豊中市立市民会館 大集会室
 出席者 140人(内委任状78人、当日の会員数177人)
 来 賓 豊中市長 浅利敬一郎さん、豊中市議会議長 溝口正美さん、同副議長 佐野満男さん
 議 長 江藤なるみさん
 議事録 署名人：猪尾英雄さん、佐々木忠弘さん 作成：易信子さん
 議 案 第1号議案 2005年度(平成17年度)事業報告について
 第2号議案 同収支決算報告について
 第3号議案 同監査報告について
 第4号議案 2006年度(平成18年度)事業計画について
 第5号議案 同収支予算書について
 第6号議案 定款の変更について
 第7号議案 役員の選任について

ウ 定款の変更

法人運営上、副理事長は必ずしも2人必要ではなく、「2人以内」と変更することによって、柔軟な対応が図れるため、総会での決議を経て定款を変更しました。

条項	新	旧
第13条 第2項	理事のうち、1人を理事長、2人以内を副理事長とする。	理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

エ 役員の選任

6月21日の総会開催日をもって、理事および監事の任期が終了することから、新たな役員の選任を行いました。役員の選任は、理事会で役員選考委員会を設置し、候補者を選考したうえで、総会で決議されました。また、新役員が選任された総会終了後、理事会を開催し、理事長、副理事長の選任を行いました。

役員選考委員会

開催日：5月8日・5月19日(2回)

委員：井上和彦、今井文子、江藤なるみ、三宅史郎、宮田健、山口壽

新役員名簿(50音順)

役職	氏名	所属等	備考
理事長	新開 悦子	生活部会、企画屋本舗	
副理事長	茨木 かづ子	産業部会、花と緑のネットワークとよなか	
理事 (13人)	井上 和彦	事務局長	
	今井 文子	生活部会、企画屋本舗	監事 理事
	上田 峯子	自然部会	
	奥野 享	生活部会	
	高島 邦子	花と緑のネットワークとよなか	
	中村 義世	花と緑のネットワークとよなか	
	橋本 幸子	生活部会	新任
	廣田 学	自然部会	
	水野 辰彦	自然部会	

	三宅 史郎	自然部会、竹炭プロジェクト	
	宮田 健	生活部会	
	光本 義一	産業部会	
	山口 壽	自然部会	
監事 (2人)	易 信子	自然部会	理事 監事
	中井 健之	企画屋本舗	

オ 理事会

理事会は基本的に隔月の第4月曜日に開催しています。理事会を開催しない月は理事協議会を開催しています。

開催日	主な議題	出席者数
4月24日	総会 / 前年度の活動報告と今年度の活動計画 / 役員について	14人
5月22日	総会までのスケジュールと当日の進行 / 総会議案「前年度事業報告と今年度事業計画」 / 総会議案「役員の選任」 / 総会議案「定款の変更」	13人
6月19日	総会の議案 / 総会当日の役割分担	15人
6月21日	理事長・副理事長の選任	15人
7月24日	理事会の開催 / 豊中まつり / 環境展 / その他の事業	14人
9月25日	理事の役割分担 / 環境展 / その他の全体事業	14人
11月27日	環境展 / その他の全体事業	14人
1月22日	次年度事業計画 / その他の全体事業	12人
3月26日	次年度事業計画 / とよなか市民環境会議役員会 / 全体事業	13人
合計：9回		124人

理事協議会

開催日	主な内容	出席者数
8月28日	全体事業 / 理事の役割分担 / 環境展	11人
10月23日	全体事業 / 理事の役割分担 / 環境展	14人
12月25日	環境展 / 10年の歩み	12人
2月26日	全体事業 / 次年度の活動計画	12人
合計：4回		49人

カ インターンシップの受け入れ

事務局では大学からのインターンシップ研修を受け入れています。豊中市職員研修所を通じた受け入れや各大学のインターンシップ制度により様々な期間の受け入れとなっています。

大学名	学部・学科・専攻など	期間	日数
関西大学	経済学部 経済学科	6月21日～12月20日	28日間
梅花女子大学	生活環境学科	8月4日～17日	10日間
追手門学院大学	経済学部 経営学科	8月4日～9月8日	10日間
大阪経済大学	経済学部 地域政策学科	2月25日～3月9日	11日間
摂南大学	外国語学部	2月19日～3月23日	13日間

(2) 環境情報サロンの運営

豊中市の施設である「環境情報サロン」の運営管理を当法人が市から受託し、法人の事務局を置いて

います。運営に当たっては、当法人の常勤の専従職員以外に、活動メンバーが半日ずつの交代で日常管理業務に携わっています。

開館日 月曜日～金曜日（年末年始、土曜日、日曜日、休日は閉館）

開館時間 午前 10 時～午後 4 時

事業概要 ・環境関連の図書・雑誌やビデオ、各種情報誌等の閲覧コーナー
 ・パソコンによる環境情報の閲覧コーナー
 ・環境啓発に関する各種催し

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来館者数	291人	268人	286人	290人	508人	338人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来館者数	382人	319人	252人	265人	329人	364人

年度	2004年度（6月～3月）	2005年度	2006年度
来館者数	1,986人	3,425人	3,892人

（３）「豊中アジェンダ 21」の進行管理

2005年6月に改定された「豊中アジェンダ 21」の中では、PDCAで毎年進行管理を行うことが掲載されています。また、「豊中市環境基本計画」も改定により、計画推進の仕組みとしての環境報告書を大幅に改訂し、その中に市民・事業者の環境活動の実施状況が掲載されるようになりました。これらを合わせ、2006年度は「豊中アジェンダ 21」の見直し作業を行った見直し委員会により進行管理の手法を検討しました。

実施日	内容	場所
3月29日	「豊中アジェンダ 21」の評価・検証について	環境情報サロン

（４）「(仮称)協働の方程式」(10年のあゆみ)の作成

1996年に設立した「とよなか市民環境会議」の10年のあゆみをまとめる取り組みを始めます。これは、今後行われる豊中アジェンダ 21の本格見直しの際に、参考資料としても活用できるようにします。今年度は、作業部会を立ち上げ、情報収集のためのヒアリングの内容検討と、アンケートを実施しました。

実施日	内容	場所
1月19日	第1回作業部会	環境情報サロン
3月5日	第2回作業部会	環境情報サロン
3月12日	第3回作業部会	環境情報サロン
3月29日	アンケート発送	環境情報サロン

（５）とよなか市民環境展 2006 の開催

ア 概要

テーマ もうちょっとエコ ようこそ とよなかエコパークへ

開催日時 2006年12月1日(金)・2日(土)両日とも10:00～16:00

開催場所 豊中市立市民会館(大ホール、大集会室、ホワイエ、地下会議室)、アクア文化ホール

主催 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21

共催 とよなか市民環境会議・豊中市・豊中市教育委員会

後援 環境省近畿地方環境事務所

イ 内容

- ・企画展「見てさわって遊ぼう 豊中の自然」
大航空写真、竹林・ビオトープの再現、落ち葉のじゅうたん、豊中の自然に関する展示、自然関係団体によるパネル展示、自然工作、滋賀県甲賀の間伐材を使った遊び
- ・科学とくらし
環境活動・情報パネル展示、地球温暖化実験、自転車発電等体験、環境学習体験、お出かけガス科学館
- ・わいわい広場
竹炭・竹酢液の有料頒布、モットちゃん・キットちゃん（大阪府エコアクションキャラクター）ショー、とよっぴーで育てた野菜の有料頒布、リユース品販売、飲食コーナー（リユース食器を使用）
- ・エコカー大集合
天然ガスPR車によるミニイベント、天然ガスごみ収集車の展示、機密書類リサイクル車の展示・実演、ペロタクシーの運行、ハイブリッド車の試乗、天然ガスバスの展示、LP ガスタクシーの展示、電気自動車の展示、燃料電池車の試乗
- ・ホールイベント
市民環境活動発表会
基調講演：松尾雄介さん（(財)地球環境戦略研究機関 関西研究センター）
環境活動の事例発表・表彰（豊南小学校・てしま保育園・さわ病院・阪急タクシー）
地球を救え！とよなか子どもエコ・クイズ大会（環境省 EST モデル事業）
市民文化祭～ちょっと早めの忘年会～（2日(土)10時～16時30分）《市民会館大ホール》
- ・エコラボバス（北大阪急行緑地公園駅～阪急曽根駅前・ビオトープ見学、バスの車掌さん体験）
- ・スタンプラリー
- ・環境クーポン券の発行
- ・とよっぴー農園収穫体験ツアー

ウ 参加者数等

- ・参加者数：約 3,300 人（出展団体関係者・来場者含む 2 日間のべ人数）
- ・学校参加数：12 校、1,063 人（人数は事前連絡数）
- ・参加団体数：55 団体

エ 実行委員会

構成：出展・参加団体 実行委員長：新開悦子さん 副実行委員長：谷口佳以子さん

回	開催日	内容	場所	出席者数
1	10月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・とよなか市民環境展の運営体制 ・実行委員長及び副実行委員長の選任 ・とよなか市民環境展 2006 の概要説明 ・テーマについて ・今後のスケジュールについて 	豊中市役所第二庁舎 3階大会議室	29人
2	10月31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・とよなか市民環境展全体の企画について ・会場配置について ・ポスター・チラシについて 	豊中市役所第二庁舎 3階大会議室	35人

		・ 出展に向けての準備について		
3	11月21日(火)	・ 会場配置について ・ 環境展全体のスケジュールについて ・ 搬入・準備について ・ 当日の運営、安全管理、注意事項について	豊中市役所第一庁舎 4階西会議室	36人
4	12月22日(金)	・ 今年度の報告とふりかえり ・ 来年度に向けての方向性	豊中市役所第二庁舎 3階大会議室	24人
合計：4回				124人

オ プロジェクト会議

構成：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、豊中市環境政策室

開催日	内容
9月6日	プロジェクト準備会
9月20日	第1回プロジェクト会議
10月5日	プロジェクト広報班ミーティング
10月12日	第2回プロジェクト会議
10月13日	プロジェクト広報班ミーティング
10月17日	プロジェクト学校班ミーティング
10月23日	プロジェクト学校班ミーティング
10月24日	第3回プロジェクト会議
11月16日	第4回プロジェクト会議
12月11日	第5回プロジェクト会議

(6) 社会教育活性化推進委員会事業

教育委員会地域教育振興課が事務局となり、大阪大学総合学術博物館、教育センター、青少年課などが参加した委員会を組織し、2005年度からの2ヵ年の事業として実施しています。今年度はこの中で「親子自然環境調査教室」事業を当法人が中心となって実施しました。

回	実施日	場所	内容	参加者数		スタッフ数
				子ども	おとな	
1	8月29日(火) 9:30~15:00	待兼山(大阪大学)	昆虫採集・標本作り	1人	1人	8人
2	9月10日(日) 9:00~17:00	能勢(少年自然の家)	昆虫採集・標本作り	22人	15人	5人
3	9月17日(日) 9:30~15:00	待兼山(大阪大学)	昆虫採集・標本作り	24人	21人	6人
4	10月15日(日) 9:30~15:00	待兼山(大阪大学)	昆虫採集・標本作り	12人	14人	7人
5	10月29日(日) 9:30~12:00	大阪大学構内、総合学術博物館	植物を中心とした自然観察	7人	4人	6人
6	11月26日(日) 9:30~12:00	大阪大学構内	植物を中心とした自然観察	3人	5人	2人
合計：6回				69人	60人	34人

(7) 服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業

大阪府池田土木事務所、豊中市環境政策室と共同で事務局を担い、標記の協議会活動を実施しました。服部緑地から天竺川沿いにつながる緑や河川を一体として捉え、地域の中でそのあり方を考えていくプロジェクトです。

協議会構成団体

履正社学園豊中中学校、緑地小学校、あけぼの幼稚園、服部みどり幼稚園、北条小学校、豊中十六中校区地域教育協議会、社団法人豊中青年会議所、服部緑地の自然を育てる会、千里川を考える会、中豊島福祉推進協議会、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、豊中市環境政策室、豊中市まちづくり支援課、豊中市土木下水道建設課、豊中市土木下水道管理課、大阪府公園協会北部公園管理センター、大阪府都市整備部河川室、大阪府都市整備部公園課、大阪府都市整備部交通道路室、大阪府池田土木事務所

実施日	内容	場所	参加者数
6月29日(木) 14:00~16:00	第6回協議会	市役所	
8月20日(日) 9:00~12:00	イベント「みんなで天竺川を知ろう!遊ぼう!06」	西願寺橋周辺	36人
10月17日(火) 11:00~15:00	勉強会「秋の閉鎖区域 摘み菜の魅力」	閉鎖区域	12人
10月30日(月)~1月18日(木)	協議会構成団体ヒアリング		
3月27日(火) 10:00~12:00	第7回協議会	市役所	
3月30日(金) 9:30~12:30	イベント「天竺川周辺の春をさがそう2007」	阪急服部駅~新菟蒨橋	24人

(8) ESD とよなか事業

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育(ESD)」の10年が始まり、地域でもこのESDを進めようと、豊中においてNPO、市の外郭組織、市、教育委員会などがゆるやかな連携で取り組みを始めています。当法人としては、広い意味での環境学習(あらゆる年齢層への働きかけ、人材育成、参加)に資する取り組みとして今後の活動の広がりにつながることを期待し、積極的に参画しています。なお、2006年度は環境省のESD促進事業に豊中市地域として採択され、事業を実施しました。

(9) おおさかレインボウぶろじゅくと

大阪府の事業で、関西雨水市民の会が中心に実施している雨水利用を推進する2ヵ年のモデル事業に、2005年度から雨水モニターとして参加しています。メーカーから提供をうけた雨水タンクを当法人の事務所のある環境情報サロンに設置し、環境活動に活用しています。

実施日	内容	場所	参加者数
5月13日(土)	雨水モニター連絡会	INAX 大阪新ショールーム	
12月20日(水) 14:00~16:00	雨水セミナー ・環境情報サロンの雨水タンクについて ・おおさかレインボウぶろじゅくとと他団体の事例について(関西雨水市民の会) ・大阪府の取り組みから(大阪府都市整備部交通道路室道路環境課環境整備グループ) ・雨水利用の普及について(参加者による意見交換)	環境情報サロン	12人

(10) 広報活動

当法人の広報活動としては、ニュースレターの発行、ホームページ作成・更新、毎月の活動案内の送付、「広報とよなか」への掲載、市広報広聴課との情報提供、豊中・池田ケーブルテレビへの出演、講演依頼への対応などを行っています。

ア ニュースレター

「とよなか環境ニュースレター」を年4回発行しています。企画・編集は広報チームが行い、月に1回ずつ編集会議や校正会議などを行っています。印刷部数は毎号1,500部で、会員への配布、とよなか市民環境会議構成団体や関係団体への送付のほか、豊中市各施設で配布しています。

イ ホームページ

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 のホームページを開設し、情報提供を行っています。
ホームページアドレス：<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>

	2005 年度	2006 年度
ホームページアクセス数	8,443	8,734

ウ 講演依頼

市内外から「豊中アジェンダ 21」や当法人の取り組みについて講演や研修の講師派遣依頼があり、可能な範囲で対応しています。今年度は以下の通りです。

実施日	行事名	主催者	場所	内容	講演者
4月29日	緑化リーダー養成講座	豊中市	花とみどりの相談所	ボランティア活動について	新開悦子
6月30日	パートナーシップフォーラム 2006 in 大阪	きんき環境館	OMM ビル	事例報告とパネルディスカッション参加	井上和彦
10月8日	環境 NGO 活動入門講座	地球環境基金	ぱ・る・るプラザ京都	活動紹介	井上和彦
11月14日	地域政策オープンカレッジ	大阪経済大学	大阪経済大学	環境まちづくりを市民と行政の協働で	井上和彦
3月23日	環境学習拠点ミーティング	地球環境パートナーシッププラザ	環境情報サロン	活動紹介	井上和彦
3月24日	川西市環境市民会議	川西市	川西市中央公民館	みんなで取り組む環境活動とは	中村義世
3月24日	あまがさき市民環境会議シンポジウム	あまがさき市民環境会議	小田公民館	パネルディスカッション	井上和彦
3月27日	田辺地域地球温暖化対策協議会設立会議	和歌山県地球温暖化防止活動推進センター他	田辺地域職業訓練センター	豊中アジェンダ 21 について	井上和彦

(11) 他の団体・自治体との連携・交流

ア くらしかん登録グループ

豊中市生活情報センターくらしかんの登録グループに登録し、毎月グループ連絡会に参加しています。くらしかんのイベントに参画したり、くらしかんと共催事業なども行っています。

実施日	内容	場所
9月16日(土)	地産地消、食の安心・安全バザール	くらしかん
10月21日(土)	生活展	くらしかん

イ きんき環境館パートナーシップ団体

環境省の近畿環境パートナーシップオフィス「きんき環境館」のパートナーシップ団体に登録しました。

実施日	内容	場所
5月17日(水)	パートナーシップ団体説明会	きんき環境館
3月20日(火)	パートナーシップ団体限定セミナー・集い	きんき環境館
3月22日(木)～29日(木)	春の展示会	きんき環境館

ウ その他

実施日	内容	場所
8月5日(土)・6日(日)	豊中まつり(環境情報サロンパネル展)	環境情報サロン
8月27日(日)	森林づくりの集い(甲賀愛林クラブ主催)	滋賀県甲賀市甲賀町
9月9日(土)	環境フォーラム	すてっぷ
10月14日(土)	みどりの交流会(実行委員会に参加)	すてっぷ
10月15日(日)	クリーンランドフェスティバル	クリーンランド
11月11日(土)・12日(日)	大阪府環境フェスティバル	万博公園
2月13日(火)	地球温暖化防止キャンペーン	豊中駅・曽根駅・桃山台駅
2月16日(金)	温暖化防止シンポジウム(取り組み報告)	くらしかん

(12) 審議会・委員会等への参加

豊中市の審議会や各種委員会、大阪府の会議に委員として参加しています。

	名称	参加者名	主な内容	開催日	開催回数
豊中市	環境審議会	井上和彦	とよなかの環境	6/12,8/14,10/2, 2/23	4回
	廃棄物減量等推進審議会	井上和彦	一般廃棄物処理基本計画、 ごみ減量計画の見直し	7/4,9/7,11/10, 11/30	4回
	EST ビジョン策定委員会	井上和彦	EST モデル事業の推進	9/27,12/5,2/5	3回
	地球温暖化防止推進地域計画策定委員会	新開悦子	地球温暖化防止推進地域計画の策定	10/17,1/9,3/19	3回
	市民公益活動推進委員会	新開悦子	市民公益活動の推進	5/23,6/26,7/21, 7/29,10/30,1/30, 2/22,3/24	8回
	ごみ減量推進協議会	井上和彦	ごみ減量計画の見直し	4/26,5/16,6/13, 8/1,8/24,9/29	6回
	国際教育推進協議会	井上和彦	国際教育推進プランの推進	11/22	1回
大阪府	“NPO&行政”意見交換会	井上和彦	自動車環境対策(エコドライブの取組み)	7/19,8/2,8/23, 9/6	4回

(13) その他

ア 環境自治体会議への参加

5月24日(水)～26日(金)に鹿児島県指宿市で開催された、第14回環境自治体会議指宿会議に2名が参加しました。

イ おおさか環境賞大賞受賞

豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府が実施している平成18年度「おおさか環境賞」府民活動部門で、当法人が大賞を受賞しました。6月27日(火)大阪府職員会館で開催された「環境を考える府民のつどい」の中で表彰式が行われ、事例報告を行いました。

3. 生活部会

(1) エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）活動

エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）による省エネ型ライフスタイルの普及啓発運動に今年も引き続き取り組みました。発行については今年も NEDO からの補助金の交付を受け 2,500 部発行しました。エコライフカレンダーとして 2000 年から運動を続けてきましたが、今年 2 月からの IPCC の報告では地球温暖化のテンポが加速し、CO2 排出削減の努力がいよいよ重要になってきています。2006 年エコライフカレンダー・モニターは 1 年間を通して毎月のデータを完全に提出していただいた人（皆勤賞）は 149 人でモニター数 159 人の 94% です。地道ではありますが普及啓発の効果は上がっています。

2005 年の豊中市部門別温室効果ガス排出量の報告の中にある民生部門家庭系について、電灯と都市ガスの使用量による二酸化炭素排出量の数値と、モニターの平均とを 1 人当たり比較を試みしました。その結果、電気では 28% ほど少なく、ガスではモニターが 9% ほど多く、両方をあわせると、モニターの 1 人あたり二酸化炭素排出は 18% 少なかったことがわかりました。

一昨年から発行したモニター通信の「モニター倶楽部」は今年度も 3 回発行（各 300 部）、モニターから寄せられた省エネの工夫や環境情報を発信して、モニターとの意見交換、交流を行いました。

2005 年モニターから寄せられた各家庭の二酸化炭素の排出量の分析の取りまとめは 2006 年 5 月 25 日に 350 部発行。モニターや関係先に配布しました。省エネ実践の評価につながることを期待しています。2006 年モニターから寄せられた、2006 年の一年間の各家庭での二酸化炭素の排出量分析のとりまとめ報告書は 2007 年 5 月に発行を予定しています。

なお、エコライフカレンダーのモニター活動「まとめ」については、20 ページほどの報告書作成だけでなく、160 人分のデータの集計処理にあたり、日常的にもかなりの作業を行っております。

2007 年 3 月 10 日、豊中市生活情報センターくらしかん・イベントホールにて、くらしかん主催の「くらしから提案 2006！」で「地球環境のためのくらしかた」をテーマに「エコライフカレンダー活動の取り組みについて」発表しました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
5月25日 (木)	2005年エコライフカレンダーの取り組み報告書 350 部発行。 4月から5月にかけて3回			22人
12月1日 (金)	豊中市民版 2007 年エコライフカレンダー(環境家計簿)の作成。NEDO の助成金を受け 2500 部作成。とよなか市民環境会議構成団体、NPO とよなか市民環境会議会員・団体、市施設、学校、幼稚園などの団体のほか、12月1日～2日開催の環境展で一般市民に呼びかけ省エネの普及啓発とモニター募集を行った。 編集会議と発送 10回			54人
2月16日 (金)	温暖化防止シンポで活動事例報告	くらしかん		5人
3月10日 (土)	くらしかん主催の「くらしから提案！」でエコライフカレンダー活動の取り組みを発表。	くらしかん	80人	9人
7月・10月・3月	モニター倶楽部 編集と発送作業 6回			26人

(2) 環境学習・見学会

ア 学習会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
8月9日 (水)	粗大ごみ収集の有料化実施について 講師：減量推進課 池田一夫さん	リサイクル交流センター	20人	8人
1月16日 (火)	住まいの省エネでエコライフ 講師：積水ハウス(株)温暖化防止研究所課長 杉村保人さん	くらしかん	32人	8人
合計：2回			52人	16人

イ 出前講座

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
8月8日 (火)	地球にやさしい生活、省エネで家計も節約	さわ病院ダイケアセンター	35人	4人
9月12日 (火)	生活でのエネルギーの節約と最近の異常気象	市立ゆたか幼稚園	30人	4人
合計：2回			65人	8人

ウ 見学会

実施日	内容	参加数	スタッフ数
5月29日 (日)	空堀界隈の探訪。環境と福祉の街づくりについて現地を見学 古きよき時代の大阪市内空堀界隈の長屋は環境と福祉と街づくりの視点から活性化していました。屋根の上には涼を誘う緑も植えられています。	6人	6人
6月30日 (金)	原田下水処理場、クリーンランド、緑と食品のリサイクルプラザを見学と学習会 循環社会へのいろいろな模索が始められています。	12人	4人
11月13日 (月)	積水ハウス総合住宅研究所・納得工房見学会 研究所の課長から、積水ハウスの建築廃材の処理・ゼロエミッションの取り組みや住まいの省エネについて最新情報の話を聞いた後、納得工房内を見学。エネルギーコーナーでは「電気を創ってみよう」の実験でペダルを踏む体験もしました	28人	5人
2月21日 (水)	大阪ガスの実験集合住宅「NEXT21」見学会 この実験住宅は、より環境性の高いエネルギーシステム追求が大きなテーマであり、建築の断熱性・太陽光発電や燃料電池によるシステム・屋上緑化などが実験課題です。	20人	6人
合計：4回		66人	21人

(3) グリーンコンシューマー活動

- ・マイバッグ持参店頭調査：マイバッグ推進協議会に協力、6月5日(月)、10月5日(木)に市内のスーパー「オアシスタ日丘店」の店頭で持参率の調査を行いました。
- ・リユースバザー：リサイクル交流センターで開かれているリユースバザーに参加し、家庭で要らなくなったものを持ち寄ってバザーに出す活動もやっています。今年度は5月27日・7月22日・9

月 30 日の 3 回参加しました。

- ・ 2 月 5 日（日）に阪急曽根駅前と豊中駅前にて行われた近隣 2 市 1 町マイバッグ合同キャンペーンに協力参加しました。

実施日	内容	場所	参加数	スタッフ数
6 月 5 日（月）	マイバッグ持参率店頭調査	阪急オアシスタ日丘店		5 人
10 月 5 日（木）				4 人
5 月 27 日（土）	リユースバザー	リサイクル交流センター	延べ 約 200 人	14 人
7 月 22 日（土）				
9 月 30 日（土）				
2 月 5 日（月）	2 市 1 町合同マイバッグキャンペーン	阪急曽根駅・豊中駅周辺		6 人

（ 4 ） 定例会

毎月 1 回定例部会を開催、事業活動計画・実施についての検討決定する他、情報・意見交換を行っています。

実施日	出席者数
4 月～ 3 月毎月第 3 土曜日	年間延べ 111 人

4. 自然部会

今年度も月1回定例会を開催し、(1)から(8)までの活動を実施しました。

自然部会では、豊中市環境基本計画と「豊中アジェンダ21」が策定された1999年から「豊中の自然を豊かにしていこう」と活動を続けています。近年、ますます失われていく豊中の自然をいかに保全するのか、今の法律や条令でこの課題(アジェンダ)を解決できるのでしょうか。

リオサミットから発せられたメッセージを受け、市民、事業者、行政のパートナーシップでの活動組織である当部会では、声を出せない自然からのメッセージを聞くことで、豊中の自然環境を守ることにどうつなげていくかを探っていましたが、地域の大切な自然環境消滅を止めたい住民からの切実な声が届けられ、緊急にその地域の植物調査もしました。開発されつくしたこの豊中市では、残っている未開発地の多くは、貴重な自然環境であると考えられます。

(1) 自然観察会

回	実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
				おとな	子ども	
1	6月17日(土) 9:30~12:00	初夏の自然観察会	服部緑地公園	4人	1人	6人
2	7月28日(金) 9:30~12:00	水生生物観察会	箕面川	7人	31人	10人
3	9月15日(金) 18:00~20:00	鳴く虫観察会	服部緑地公園	10人	6人	5人
4	11月25日(土) 9:30~12:00	秋の自然観察会 おおさか「山の日」秋の里山を歩こう	島熊山	24人	1人	5人
5	2月10日(土) 9:30~12:00	水鳥観察会 冬の水鳥と陸鳥の観察	服部緑地	27人		3人
合計：5回				111人		29人

(2) 連続自然学習講座

テーマ「豊中の自然を見つめみんなで考えよう」

1999年から年3回シリーズで開催して24回となった。

回	実施日	内容	講師	場所	参加者数	スタッフ数
1	11月13日(月) 18:30~20:30	「環境法から自然環境を守れるか」 ・都市環境の保全はなぜ難しいのか(私有地、国土形成計画法など) ・今の制度でできることは何か(提案制度、協定制度、協議会の利用など) ・具体的に考えてみよう(自然再生推進法、景観法など) ・今後の課題は何か(オーフス条約など)	大久保則子さん (大阪大学大学院法学研究科教授)	中央公民館	33人	2人
2	2月19日(月) 18:30~20:30	「羽鷹池の取り組みから豊中の自然を考える」 ・羽鷹池保全活動の経過、課題(1980年以降の経過の説明など)	安川哲三郎さん (豊中生物同好会)	くらしかん	31人	3人

		<ul style="list-style-type: none"> ・豊中における自然保護運動の歴史（安場池や島熊山の経過の説明など） ・旧猪名川堤防の自然林の経過（1974年と2004年の樹木の変化について） 				
3	3月26日 （月） 18:30～ 20:30	「心象絵図と五感の自然学」 <ul style="list-style-type: none"> ・地元学とはなにか（心象絵図の基本の概念） ・ふるさとの「心象絵図」のつくりかた（方法論） ・心象絵図を使った様子や効果について（DVDで様子を紹介） ・心象絵図の絵解き解説（実演） ・ふるさとの五感体験アンケート実施（参加者の回答を通して意見交換） 	上田洋平さん （滋賀県立大学非常勤講師）	中央公民館	21人	2人
合計：3回					85人	7人

（3）自然ふしぎ発見クラブ

次世代を担う子ども達とその保護者を対象に、身近な自然のふしぎを発見し、自然の見方、触れ合い方を知ってもらう行事をほぼ毎月1回開催しています。

	実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
				子ども	おとな	
1	4月22日（土）	島熊山と若竹観察	島熊山		1人	4人
2	5月27日（土）	草花遊びとしおりづくり	豊島公園	2人	2人	3人
3	6月24日（土）	見つかるかな豊島公園のキノコ	豊島公園			2人
4	7月22日（土）	セミとセミの抜けがら観察	豊島公園	4人	3人	3人
5	8月24日（土）	夏休みビデオシアター	くらしかん	3人	14人	2人
6	9月30日（土）	バッタのジャンプ大会	春日町ヒメボタル保全区域	5人	7人	6人
7	10月28日（土）	秋の色はどんないろ？ドングリ染めに挑戦	千里中央公園野外炊さん場	6人	5人	4人
8	11月25日（土）	雑木林の木の実さがしとリース作り	千里中央公園	3人	6人	4人
9	12月23日（土）	ミニツリーと来年の干支をつくろう	くらしかん	9人	9人	5人
10	1月27日（土）	春の七草さがしと野外クッキング	千里中央公園野外炊さん場	9人	8人	5人
11	2月24日（土）	池めぐり耐寒ウォーク 野鳥・木の芽とサプライズ	榎ノ木池・安場池（千里中央公園）	2人	8人	2人
合計：11回				43人	63人	40人

(4) 生き物調査(ツバメ営巣調査豊中 2006)

豊中市内を 33 メッシュに分けて、ツバメの営巣状況を調査しました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
5月13日(土) 10:00~12:00	説明会と観察会	教育センター	33人	
5月13日~8月20日 (100日間)	ツバメ営巣調査	豊中市内全域	38人	9人
8月21日(月)	ツバメねぐら入り観察会	奈良平城宮跡	15人	2人
8月31日(木)	ツバメねぐら入り観察会	豊中市赤坂下池	17人	
9月1日(金)	調査まとめ会議	環境情報サロン		10人
9月8日(金)	調査まとめ会議	環境情報サロン		10人
9月20日(木)	調査まとめ会議	環境情報サロン		8人
9月29日(金)	調査まとめ会議	環境情報サロン		8人
10月4日(水)	調査まとめ会議	環境情報サロン		8人
10月12日(木)	調査まとめ会議	環境情報サロン		8人
10月27日(金)	調査まとめ会議	環境情報サロン		8人
11月20日(月)	ツバメ調査報告書印刷冊子づくり	くらしかん		8人
11月23日(祝) 13:30~16:00	報告会	くらしかん	25人	
12月1日(金)・ 2日(土)	環境展にてパネルと報告書を 展示	豊中市民会館		

(5) 植物希少種調査

開発が進み自然が少なくなっていく中で、このままでは豊中には昔からの自然が無くなってしまわないだろうか、と言うようなある種の危機感がわたしたちの間に芽生えました。今のうちにできるだけ豊中の植物を調べ、例えば、豊中版レッドデータブックのようなものを作り、開発に対する歯止めのような役目が果たせないものか、これがこの活動を始めたきっかけでした。活動は、かつての豊中にはどんな植物があったのか、ということから、新修豊中市史自然編の中の、過去に先人たちが残してくれた資料をもとに、その中から外来種を除いたリストを作ることから始め、2006年度も以下のような調査を行いました。

実施日	内容	場所	参加者数
4月19日(水)	検討会	くらしかん	8人
4月25日(火)	野畑旧自衛隊跡地植物調査	野畑自衛隊跡	9人
6月12日(月)	千里東町公園植物調査	千里東町公園	11人
9月19日(火)	榎の木池公園植物調査	榎の木池公園	5人
2月23日(金)	まとめ冊子づくり(中間まとめ)	くらしかん	7人
合計			40人

(6) 自然を守る活動

実施日	内容	参加者数
4月21日(金)	島熊山竹林整備	11人
5月18日(木)	春日町竹林剪定枝チップ播き	

5月24日(水)	旧猪名川堤防林清掃	12人
6月29日(木)	羽鷹池クズ刈り	12人
8月8日(火)	春日町草刈り(ヒメボタル保護区)	
9月4日(月)	ヒメボタル生息地草刈り(春日町)	
9月14日(木)	天竺川清掃(八坂橋付近)	10人
11月27日(月)	羽鷹池クズ刈り	11人
12月7日(木)	ヒメボタル生息地草刈り(春日町)	
1月24日(水)	島熊山竹林整備	20人
1月26日(金)	ヒメボタル生息地竹林整備(春日町)	

(7) 上野丘2丁目第4公園ビオトープ

宅地造成などでなくなってしまった自然を少しでも取り戻そうと、上野丘に作られた公園の一部を自然部会が中心となってビオトープとして整備しました。地元自治会とも話し合いを重ね、4月29日に公園開きが行われました。6月にはイトトンボ類、ギンヤンマ、シオカラトンボ等多数のトンボが羽化しました。8月にはカワセミの飛来も確認しました。

実施日	内容	参加者数		スタッフ数
		こども	おとな	
4月15日(土)	植樹			13人
4月20日(木)	植樹			2人
4月29日(土)	上野坂公園開き、ビオトープ開放、解説			8人
7月2日(日)	ビオトープ観察説明会 市主催みどりのワークショップメンバー見学		20人	1人
8月12日(土)	上野丘自治会見学	3人	8人	1人
8月22日(火)	上野丘自治会見学	7人	9人	2人
8月30日(水)	上野丘自治会見学	3人	13人	1人

(8) その他

実施日	内容	場所	スタッフ数
4月21日(金)	ヒメボタル保護者会		
4月29日(土)	スプリングフェスタ(自然工作)	豊島公園	9人
5月15日(月)	どんぐり山幼稚園児対象観察会		
5月30日(火)	東泉丘開発地植物調査		3人
6月3日(土)	ヒメボタル観察会協力		11人
6月5日(月)	南桜塚小学校環境学習(1年生)		
6月5日(木)	南桜塚小学校環境学習(3年生)		
6月18日(日)	蛭池小学校環境学習(3年生)		
7月6日(木)	ヒメボタル会議		
7月10日(月)	公園みどり推進課との話し合い		
7月12日(水)	庄内南小学校環境学習(昆虫)		
8月5日(土)・ 6日(日)	豊中まつり(自然工作)参加者数:35人	環境情報サロン	8人
8月18日(金)~	庄内公民館(夏休みこども工作教室)	庄内公民館	9人

20日(日)	参加者数：80人		
8月21日(月)～ 25日(金)	50年前の豊中の昆虫展(市役所第2庁舎)		
8月25日(金)	大阪大学中山池ワークショップ参加		
9月22日(金)	ヒメボタル会議		
10月14日(土)	みどりのフォーラム参加		
10月17日(火)	どんぐり山を守り育てる会にて、どんぐり染め体験指導		1人
10月21日(土)	生活展(雨水利用のクイズコーナーと自然工作)	くらしかん	8人
10月22日(日)	健康づくりふれあいウォーク(服部住吉神社にて自然観察コーナー)	住吉神社	4人
10月27日(金)	小学校環境学習(4年生、1年生18人が天竺川に入り清掃活動)		
11月1日(水)	豊島西小学校3年生3クラスを猪名川河川敷で草遊び	猪名川	
11月5日(日)	原田城跡(自然工作)まちづくり協議会そね21の会主催	原田城跡	4人
11月8日(水)	東泉丘開発地植物調査つき合わせ		8人
11月11日(土)・ 12日(日)	大阪府環境フェスティバル(万博公園)アジェンダ活動のパネル展示と自然工作		9人
1月4日(木)～ 12日(金)	七草展示と春の野草調査パネル展	くらしかん	
1月5日(金)	七草さがしと七草がゆ(くらしかん共催)参加者：27人	くらしかん	7人

5 . 産業部会

2006年度産業部会では学習会を2回と見学会を1回開催しました。そのうちの2回は屋上緑化など、都市部における緑化について取り上げました。失われつつある豊中市内の緑を守ると同時に建物の屋上や事業所敷地内や周りのスペースを緑化することにより少しでも緑を増やすことも大切なことです。ヒートアイランド対策のためにも、今後も情報発信を続けていきます。

(1) 講演会、勉強会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
11月2日 (木) 13:30～ 16:00	「事業所で取り組む緑化」 屋上緑化、壁面緑化の手法と実例 豊中造園建設業組合員 稲葉憲造さん 豊中市における緑化推進の取り組み 豊中市環境部公園みどり推進課 高見健一さん 緑化と雨水利用 関西雨水市民の会会長 水野育成さん DVD「屋上緑化(さつまいもの水耕栽培)の紹介」 質疑応答	花とみどりの相談所	10人	1人
3月22日 (木) 13:30～ 16:00	「ビル管理における省エネ対策と具体的事例」 ビル管理における省エネ対策と具体的事例 (財)省エネルギーセンター(ECCJ) エネルギー使用合理化専門員 福田光久さん 質疑・応答 豊中市における ESCO 事業導入事例 環境政策室地球温暖化対策チーム 内田武さん	豊中商工会議所	21人	2人
合計：2回			31人	3人

(2) 見学会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
3月6日(火) 12:40～16:30	「さつまいもの屋上緑化システム見学会」 ハイポニカふれあいファームの見学と 屋上緑化システムの説明	協和(株) ハイポニカふれあいファーム	41人	3人

6 . 交通部会

2006 年度の交通部会は、豊中市の EST（環境的に持続可能な交通）モデル事業の中で、市民・事業者・行政などが連携して行う事業を市と協働で実施しました。

(1) EST de トーク&トーク

実施日	内容	場所	参加者数
1月13日(土) 14:00~16:00	第1部(話題提供) 豊中の EST 事業に関してあれこれ 1) 交通の視点からの持続可能な都市評価研究について 豊中市 EST ビジョン策定委員会会長 新田保次さん(大阪大学大学院工学研究科教授) 2) 豊中市環境政策室より エコ・ラボバス運行の実施概況 交通環境学習の実施概況 スルッと Kansai との共同社会実験の概要 第2部(車座対話) 出席者全員での自由な意見交換会	くらしかん	30人

7. 竹炭プロジェクト

18年度も自然環境の保全を目的に千里中央公園を活動拠点として、竹切り、竹炭焼き、公園の整備や、竹・小枝を使った自然工作などを行いました。また、竹炭と竹酢液の製品は市のイベントなどで頒布いたしました。間伐の成果が徐々に上がって年々明るい竹林に変わって来ております。以下今年度の活動の詳細を述べます。

(1) 竹切り作業 (千里中央公園)

今年度は雨に打たれることが多く中止が1回、他の業務に振替が5回もあって間伐作業は予定より少し遅れました。

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	切った竹概数	備考
4月26日	竹間伐作業	12人	2人	85本	若竹100本
5月9日	〃	9人	3人	25本	前半竹割り、若竹50本
5月25日	〃	9人		95本	若竹100本
6月7日	〃	10人	2人		若竹350本
8月8日	〃	6人		60本	
8月14日	竹割り節取	6人			
8月23日	竹間伐作業	9人	1人	135本	
9月4日	〃	8人	1人	130本	
9月27日	〃	11人	2人	215本	吹田市との境界細竹多い
10月13日	竹割り節取	5人			
10月30日	竹間伐作業	10人	1人	95本	
11月6日	〃	8人		85本	
11月29日	〃	7人		60本	
12月6日	〃	10人		170本	吹田市との境界細竹多い
1月10日	〃	12人		115本	
1月11日	〃	4人			1/10間伐竹材窪地搬入
1月29日	〃	9人	1人	80本	
2月7日	〃	10人	2人	130本	
2月14日	竹割り節取	5人			
3月7日	竹間伐作業	9人		105本	
3月26日	〃	10人	2人	90本	
合計：21回		179人	17人	1,675本	

18年3月31日までの通算4,025本、通算合計：5,700本
他に18年度若竹伐採 約600本

(2) 竹炭焼き (千里中央公園野外炊さん場)

18年度は予定どおり10回実施しました。

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	備考
4月18日	竹炭焼き	9人	1人	2窯
4月19日	窯出し	9人	2人	
5月16日	竹炭焼き	9人	3人	2窯
5月17日	窯出し	7人	3人	
6月14日	竹炭焼き	8人	3人	2窯

6月17日	窯出し	8人		雨、15日 17日
9月13日	竹炭焼き	9人	3人	2窯
9月14日	窯出し	7人	3人	
10月17日	竹炭焼き	10人	1人	2窯
10月18日	窯出し	8人		
11月14日	竹炭焼き	8人	2人	2窯
11月15日	窯出し	9人	2人	
12月18日	竹炭焼き	9人	1人	2窯
12月19日	窯出し	9人		
1月17日	竹炭焼き	9人		1窯、雨で開始遅れ
1月18日	窯出し	12人	2人	
2月19日	竹炭焼き	11人	1人	2窯
2月20日	窯出し	10人	1人	
3月14日	竹炭焼き	11人	2人	2窯
3月15日	窯出し	10人	2人	
合計：10回（20日）		182人	32人	

（3）竹炭製品作り（千里中央公園管理事務所、倉庫）

主として市のイベントで頒布するために竹炭の製品作りをしております。

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	備考
7月5日	カットブラシ	8人		豊中まつり用
7月19日	〃	9人		
7月27日	園芸用小粒竹炭	7人		
11月9日	カットブラシ	5人		万博フェス、農業祭用
11月26日	袋詰め他	4人		環境展用
2月28日	カットブラシ	11人	1人	
合計：6回		44人	1人	

（4）公園整備と清掃（千里中央公園）

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	備考
6月22日	土留作業	7人		スベリ台付近
10月5日	〃	11人		〃
12月19日	林内清掃	9人		
2月20日	土留作業	6人		スベリ台付近
合計：4回		33人	0人	

（5）会議（千里中央公園管理事務所）

作業はほぼ一巡しました。振り出しに戻り再スタートするに当たって今後の方針や、現在ある竹炭・竹酢液効能書きや竹炭焼きマニュアルなどを見直す事としました。

実施日	内容	メンバー出席者数
10月5日	千里中央公園外周点検	7人
11月6日	千里中央公園中央部と竹林内点検	4人

12月6日	10、11月をふまえて今後の方針について	6人
1月10日	マニュアル会議	5人
2月7日	"	6人
3月7日	"	5人
合計：6回		33人

(6) 竹炭・竹酢液の頒布

主として市のイベントで頒布しました。豊中まつり、農業祭、環境展、生活展など9回
頒布金は、78,200円でした。

(7) 工作

イベントで8回、メンバー研修として1回、計9回実施しました。
一般参加者延べ 312人、竹炭プロジェクトスタッフ数 45人
工作は自然部会と合同で行っております。

(8) その他

ア 竹材など提供

竹工作、環境展用竹材・落ち葉、燃料用として竹炭など10件。

イ 観察会(メンバー研修)

12月22日 千里中央公園の野鳥観察 (参加3人)

2月24日 長谷池、榎の木池、千里中央公園の野鳥観察 (参加7人)

8. 企画屋本舗

企画屋本舗では環境問題をだれもが身近な問題と捉えると同時に、参加しやすい、ハードルの低い企画内容を検討してきました。今年度もメンバーの7割が現役の社会人で構成されていました。従って、活動にはおのずと制約があり会合も夜に開催しています。仕事を終え、夜またボランティアをするには体力も気力も、そして魅力が必要です。そういう条件の中での活動だからこそ情報を共有化することは大変重要と考えています。

メンバーは少数ですが、毎回企画案に賛同してもらえる他の部会、プロジェクトの方の協力を得て事業を実行しています。また今後も環境にこだわらず多分野で活動している方々や、地元の方々、専門家とも連携して企画していきたいと考えています。そこにはメンバーが持ち得ない豊富な知識、知恵、技術、等々があり参加者の満足度につながるのは当然のこと、メンバー自身も楽しんで活動できています。

企画屋の目的のひとつである新会員の獲得はなかなか難しいことですが、NPO 法人アジェンダ 21 の組織の認知度を上げ、活動を理解してもらおう努力を続けたいと考えております。

(1) 環境塾 環境びっくり箱 親子で楽しむエコツアー「パンとマーガリンの一生と手のひら温度計」

豊中市域を北部、中部、南部に分けると、それぞれが違う特徴を持っています。南部は工場が多いのが特徴の一つです。今年も夏休みの子どもとその保護者を対象にツアーを企画。南部にある2つの工場の見学と、神社での緑の効果を実験しました。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
7月31日 (月) 12:30~ 17:00	環境情報サロン集合（マイクロバス利用） PASCO（シキシマパン）工場見学（豊中市名神口） 玄関から通路、トイレに至るまで徹底した衛生管理が行き届いた大型工場。ガラス越しに製造ラインを見学 ＊参加者の声から～工場の人のお話を直接聞いたことは良かったです。 マリンフード マーガリン工場見学 帽子・マスク・白衣を着用して見学開始。こちらも衛生管理を徹底していた。製造ラインのすぐ横を見学。ライン上のホットケーキを試食でき、大歓声。 ＊参加者の声から～工場の人のお苦労がわかりました。 住吉神社 フィールドワーク ・手のひらで木の幹、狛犬、土、壁、マンホール等をさわって温度差を実感。そのあと、温度計の数値と比較する。 ・絵本「手のひら温度計」の読み聞かせ ・打ち水作戦～温度を下げよう体験 環境情報サロン解散	29人	7人

(2) 学習会企画 講演会・ワークショップ「環境にやさしいってどんなこと？」

学習会を地域に出かけて行き実施したいと考え、教育委員会の協力を得て大池小学校で学習会を開催しました。依頼を受けてではなく、アジェンダとして開催を希望するに当たり、場所の提供から、参加者の要請、広報までを学校長やPTA、また連Pの方々に協力をお願いし、実施にいたしました。

実施日	場所	講師	参加者数	スタッフ数
11月7日(火) 10:00~12:00	大池小学校会議室	神戸山手大学教授 中野加都子さん	20人	7人

(3)「写真ワークショップ in しょうない」(ESD とよなか主催)にスタッフとして参加

計画していた「ちょっといい豊中みつけにいこかウォーク」が実施できず、代わりに写真ワークショップの一分野で企画屋本舗としての企画を実現する予定で参加することにしました。しかし、今回のワークショップは従来のもので大きく異なり、「^{マルマル}になって見ました！」というテーマ設定でタウンウォッチングを実施したため、私達が当初考えていたことは実行できませんでした。一方、まち歩きの新しい視点を考えることができました。

(4) 定例会

定例会は毎月一回、環境情報サロンで開催しました。会議では、事業計画を実施するための打ち合わせ、資料作成等をおこなっております。メンバーは仕事上の関係でなかなか定刻には揃いませんが、宿題も含めた課題や、得意分野を熱く語り合う時間になっております。また理事会報告もおこない情報共有をしています。

実施日	出席者数
4月13日(木) 19:00~21:00	6人
5月18日(木) 19:00~21:00	4人
6月8日(木) 19:00~21:00	5人
7月13日(木) 19:00~21:00	4人
7月31日(月) 19:00~21:00	6人
9月14日(木) 17:00~18:00	4人
10月12日(木) 19:00~21:00	4人
11月9日(木) 19:00~21:00	3人
12月14日(木) 19:00~21:00	6人
12月20日(水) 19:00~21:00	5人
1月11日(木) 19:00~21:00	3人
2月15日(木) 19:00~21:00	3人
合計: 12回	53人

9. 花と緑のネットワークとよなか

本年度は、「2006年度 JT 青少年育成に関する NPO 活動助成」を受けた「都市部でつなぐ農と食育ワークショップ」事業を中心に多様な活動を展開することができました。とくに本年度、先に助成を受けた日本財団の資金をもとに機材（中古トラクター）を購入しましたが、それを大いに活用した活動として前述の事業を市原田苗圃施設（とよっぴー農園）の一部を借用するなかで農作物栽培・収穫等の取り組みを、多くの参加者を得て実施することができました。本活動では、9月に給食関係者・農業者・保護者等の関係者による「食育フォーラム」を開催し、「地産地消」の重要性を確認するとともに、食の大切さを訴える機会となりました。

主たる活動経過は以下のとおりです。

毎月定例会を開催し、活動経過の報告並びに時々の情勢交換や活動の方針を議論・決定する作風を確立していますが、概ね毎回 10～20 人以上の出席を得ており、議論と合意のスタイルが定着してきました。会員としては、新規 2 人・退会 1 人で大きな変動はありません。団体では 2 団体が増えました。

緑と食品のリサイクルプラザで製造される堆肥（とよっぴー）の有償頒布及び無料配布等については、米飯給食の全量投入を実施し、これまでで最大の製造量となりました。内訳は、年間製造量に対し、有償頒布のウエイトが高くなっています。有償頒布に際しては事前の堆肥袋詰めが必要であり、会員の参加を得て有償頒布回数と同程度の作業を実施しました。この袋詰めに関しては緑と食品のリサイクルプラザ職員との協働作業が進んでいます。購入者の傾向は市民農園活用者や家庭菜園での利用の他、農業者の購入や花栽培や植栽での利用もありました。

無料配布は市内農業者、花いっぱい運動関係、市施設（教育委員会関係）等に対する配布です。従来、市事業所関係に関しては堆肥を運搬していましたが、関係者が袋詰めを行う方式に改めました。

家庭における生ごみリサイクルに関する堆肥化講習及び堆肥化活動助成については、前者が総計 23 回 215 人の出席がありました。本年度の講習では堆肥化にこだわらず、会員である市内農業者や（とよっぴー）農園長による作物栽培の研修会を設け好評を得ました。また、出前講座を実施し、生ごみ堆肥化の輪を広げる努力を行いました。

活動助成制度の活用では 50 件（コンポスト 5 件・密封バケツ 31 件・ダンボール堆肥資材 14 件）の申請がありました。全国の自治体で電動堆肥装置の助成制度が普及しています。当初は電動堆肥装置を助成対象としていませんでしたが、諸般の情勢を考慮し、活動助成の枠組みを広げる方向で現在内部の検討を行っています。

緑と食品のリサイクルプラザ施設の見学者に対する対応及び環境教育では、延べ 44 回 1,108 人の見学がありました。内訳は施設見学のみが 19 回で、その他は（とよっぴー）農園での農作物栽培・収穫等に関連した見学でした。

例年、見学者の滞留時間が短く、十分な説明や交流する機会が少ないことから見学対応の対応について検討した結果、パワーポイントを活用して施設内容の概略説明や活動の様子等、視覚説明を行うことで見学者の興味・関心をひきつける工夫に改善しました。また、見学者の窓口である市関係者と事前調整をして見学時間を有効に活用するよう心がけています。さらには、小学校低学年や幼児等には紙芝居を活用して食品残渣の有効再生利用の仕組みを説明しています。

環境教育では、前述の「都市部でつなぐ農と食育ワークショップ」事業を軸にした活動を精力的に行いました。小学生・幼稚園・保育所や一般公募の親子あるいはボーイスカウト等、多彩な団体を対象に農作業・収穫体験を実施しました。栽培作物の種類は、じゃがいも、大根、玉葱、大豆等でした。ほうれん草、小松菜、チンゲン菜は別途栽培活用しました。なお、当初計画にはとうもろこしの作付けもありましたが、天候不順等の関係で不作となりました。

また、（とよっぴー）農園だけでなく、学校等に出向く出前講座も実施しました。なお、事業に参加した「てしま保育園」及びさわ病院が環境展での環境活動報告において事業所の報告を行っています。

食の循環活動では、例年同様に協力農家の野菜提供を得て 5 回の頒布活動を実施しました。食の循環

活動の好例として、地場産作物の給食食材への納入が進んでいます。今月6月には地域の農家で育てた玉葱が約10,700個納入され、活動の成果が定着してきました。

その他の特徴的な活動は後述します。

(1) 定例会の開催

定例会は毎月第2火曜日、午後1時30分～午後3時30分を基本に実施しています。

実施日	出席者数
4月11日	13人
5月9日	15人
6月13日	20人
6月30日	18人
7月11日	14人
8月8日	14人
9月12日	18人
10月12日	11人
11月14日(施設見学と同時開催)	16人
12月11日	18人
1月9日	20人
2月13日	20人
3月13日	20人
合計：13回	217人

(2) 堆肥「とよっぴー」の有償頒布・配布の活動

内訳のイベント配布は、農業祭、スプリングフェスタ、れんげ祭りでの配布です。

活用用途	市事業所	協力農家	花いっぱい運動	イベント配布	堆肥化講習会	有償頒布	製造量合計
配布頒布量	17,000kg	22,490kg	2,330kg	3,518 kg	532.5 kg	69,164 kg	115,034.5kg
割合	14.8%	19.6%	2.0%	3.1%	0.5%	60.0%	100.0%

(3) 生ごみリサイクルに関する堆肥化支援及び講習会の開催

ア 堆肥化相談・講習会の開催

回	実施日	主な内容	場所	参加者数	スタッフ数
1	4月8日(土)	段ボール堆肥実演他	くらしかん	5人	3人
2	4月26日(水)	堆肥化相談	リサイクルプラザ	0人	1人
3	5月13日(土)	栽培講演会(講師:柳澤) 落ち葉・段ボール堆肥	くらしかん	35人	10人
4	5月24日(水)	落ち葉・段ボール堆肥	リサイクルプラザ	0人	1人
5	6月10日(土)	実演と助成説明	くらしかん	7人	2人
6	6月24日(土)	老人会婦人部対象 段ボール堆肥実演	市立千里老人福祉センター	28人	4人
7	6月28日(水)	堆肥化相談	リサイクルプラザ	0人	1人
8	7月8日(土)	夏野菜栽培講習と堆肥化説明(講師:光久)	くらしかん	15人	5人

9	7月21日(金)	老人会(自治会)へ出前講習、実演と助成説明	府営新千里南町住宅B-42棟南町集会所	11人	4人
10	7月29日(土)	地元老人会対象実演と助成説明	朝日プラザ千里管理(事)住宅管理組合(事)集会所	18人	4人
11	9月9日(土)	栽培講演会(講師:岸田)実演と助成説明	くらしかん	29人	5人
12	9月27日(水)	実演と助成説明	リサイクルプラザ	1人	1人
13	10月14日(土)	実演と助成説明	くらしかん	8人	4人
14	10月25日(水)	堆肥化相談	リサイクルプラザ	0人	1人
15	11月11日(土)	実演と助成説明	くらしかん	8人	4人
16	11月22日(水)	堆肥化相談	リサイクルプラザ	0人	1人
17	12月9日(土)	実演と助成説明	くらしかん	2人	4人
18	1月13日(土)	実演と助成説明	くらしかん	7人	4人
19	2月10日(土)	実演と助成説明	くらしかん	7人	3人
20	2月28日(水)	堆肥化相談	リサイクルプラザ	4人	1人
21	3月14日(水)	生活部会と合同で講習会堆肥化実演	堀田会館(子育てサークル)	12人	4人
22	3月17日(土)	栽培講演会(講師:岸田)と助成説明	くらしかん	16人	4人
23	3月28日(水)	堆肥化相談	リサイクルプラザ	1人	1人
合計:23回				215人	72人

イ 堆肥化活動助成(容器)の実績

回	実施日	助成内容		
		コンポスト	密閉バケツ	ダンボール堆肥資材
1	4月8日(土)		3件	2件
2	4月26日(水)			
3	5月13日(土)		5件	
4	5月24日(水)			
5	6月10日(土)		2件	2件
6	6月24日(土)		4件	
7	6月28日(水)			
8	7月8日(土)			7件
9	7月21日(金)		2件	
10	7月29日(土)		2件	1件
11	9月9日(土)	1件	2件	2件
12	9月27日(水)			
13	10月14日(土)	1件		
14	10月25日(水)			
15	11月11日(土)		1件	
16	11月22日(水)			
17	12月9日(土)		1件	

18	1月13日(土)	1件	2件	
19	1月24日(水)			
20	2月10日(土)		3件	
21	2月28日(水)	1件	3件	
22	3月17日(土)		1件	
23	3月28日(水)	1件		
合計：23回		5件	31件	14件
		50件		

(4) 緑と食品のリサイクルプラザの見学対応・環境教育

ア 見学対応（施設見学のための対応は19件、その他は「とよっぴー農園」における活動に関連して見学も実施したものです。）

回	実施日	見学団体	見学内容	見学者数		スタッフ数
				おとな	子ども	
1	4月6日	いもっ子クラブ	施設見学とじゃがいもの植え付け	9人	11人	8人
2	4月26日	関西消費者協会	消費者協会 月刊誌取材	1人	0人	1人
3	5月10日	箕面市役所	リサイクルプラザ、環境情報サロン見学	5人	0人	3人
4	5月20日	とよっぴーキッズ倶楽部	施設見学とさつまいもと大豆の植え付け	15人	20人	6人
5		ボーイスカウト 22 団	施設見学とさつまいもと大豆の植え付け	6人	7人	
6	5月26日	原田小学校 3年	施設見学とさつまいも、大豆、とうもろこしの植え付け	3人	90人	4人
7	6月9日	豊中北コープ委員会	環境の研修会	20人	0人	1人
8	6月10日	とよっぴーキッズ倶楽部	今回初めての参加者がプラザ施設見学。さつまいも畑の草抜き	3人	4人	5人
9	6月29日	泉丘小学校 4年	プラザ施設見学	5人	124人	6人
10		原田小学校 4年	施設見学とたまねぎの収穫	5人	92人	
11		蛭池保育所	施設見学とたまねぎの収穫	4人	29人	
12		西丘保育所	施設見学とたまねぎの収穫	3人	26人	
13		豊中人権まちづくりセンター保育所	施設見学とたまねぎの収穫	4人	18人	
14	6月30日	市民見学会	リサイクルプラザ、環境情報サロン見学	11人	0人	3人
15	7月6日	大阪府立大 上楠木教授研究室	施設見学	15人	0人	1人
16	7月25日	京都 NPO 気候ネットワーク	施設見学と堆肥化の状況	2人	0人	1人
17	8月4日	インターンシップ	施設見学	3人	0人	1人
18	9月7日	第15中学校 1年	ボランティア体験受け入れ、	0人	8人	11人

			施設見学とじゃがいもの植え付け等			
19	9月8日	第15中学校1年	ボランティア体験受け入れ、施設見学とじゃがいもの植え付け等	0人	8人	5人
20	9月21日	てしま保育園	施設見学と「木の肌の模様」など環境学習	4人	27人	5人
21	10月5日	ほっぺ	10/23の事業の下見をかねて施設見学	3人	0人	2人
22	10月21日	ボーイスカウト22団	施設見学とさつまいもの収穫	3人	8人	7人
23	10月23日	ほっぺ	施設見学とサツマイモの収穫	67人	69人	7人
24	10月26日	市民エコ体験ツアー	市民公募し、市のバスでクリーンランド、プラザの施設見学	15人	8人	8人
24	10月27日	原田保育所	施設見学とさつまいも収穫の際、人参君の紙芝居を実施	5人	30人	7人
25	10月28日	大阪なにわ環境塾	施設見学	1人	0人	1人
26	10月31日	仏光幼稚園	施設見学と10/9の下見	3人	0人	1人
27	11月2日	さわ病院	施設見学とさつまいもの収穫	8人	0人	9人
28	11月9日	豊島西小学校5年	施設見学と玉ねぎの植え付け	4人	90人	9人
29		仏光幼稚園	施設見学とチンゲン菜の収穫	4人	46人	
30		地域職場体験CUL(中学2年)	施設見学ととよっぴー農園の見学	0人	2人	
31	11月29日	呉市議会議員	施設見学、ニュースレターや野菜作りの冊子など資料を提供	1人	0人	2人
32	12月1日	環境展参加者	施設見学と市民収穫体験	13人	3人	2人
33	12月2日	環境展参加者	施設見学と市民収穫体験	6人	3人	2人
34		ボーイスカウト17団	施設見学とじゃがいもの収穫	10人	10人	4人
35	12月22日	シルバーアドバイザーとよなか	施設見学	12人	0人	2人
36	1月6日	都市機構(UR)	施設見学	2人	0人	1人
37	1月30日	裾野市・御殿場市議会議員	シャッターで暗くして、パワーポイントで施設の説明	3人	0人	2人
38	2月2日	上野公民分館	シャッターで暗くして、パワーポイントで施設の説明	17人	0人	4人
39	2月15日	館林市議会議員	シャッターで暗くして、パワーポイントで施設の説明	7人	0人	1人
40	2月27日	稲沢市議会議員	シャッターで暗くして、パワーポイントで施設の説明	3人	0人	2人

41	2月28日	(株)サーモビジョン	施設見学	3人	0人	3人
42	3月2日	仏光幼稚園	施設見学とじゃがいも植え付け	7人	32人	8人
43	3月7日	シリベリアトラクター	スリランカのトラクター会社経営者が施設見学	1人	0人	1人
44	3月9日	じゃがいもっ子ひろば	じゃがいも植え付けの際施設見学	13人	14人	7人
合計：44回				329人	779人	153人
				1,108人		

イ 環境教育（出前講座及びクリーンランドにおける施設説明もあります）

回	実施日	参加者	内容	参加者数		スタッフ数
				子ども	おとな	
1	4月6日	いもっこ倶楽部（未就学児公募）	じゃがいもの植え付け	11人	9人	8人
2	5月11日	いもっこ倶楽部（未就学児公募）	じゃがいも畑の草抜き	9人	9人	8人
3	5月20日	とよっぴーキッズ倶楽部（小中学生公募）	さつまいもの植え付け、大豆の豆まき	20人	15人	6人
4		ボーイスカウト 22 団	さつまいもの植え付け、大豆の豆まき	7人	6人	
5	5月25日	豊島西小学校 5 年生	小学校へ出向き、お米のはなし、とよっぴーの話（学校菜園で米を育てる）の出前講座	79人	3人	2人
6	5月26日	原田小学校 3 年生	さつまいも、とうもろこし、大豆の植え付け	85人	8人	4人
7	6月10日	とよっぴーキッズ倶楽部（小中学生公募）	さつまいも畑、大豆畑の草抜き	11人	8人	5人
8	6月15日	豊島西小学校 2,3 年生	小学校へ出向き、さつまいもの話、とよっぴーの話（学校菜園で育てる）の出前講座	166人	6人	2人
9	6月16日	箕輪小学校 4 年生、 克明小学校 4 年生	クリーンランドで「にんじんくん」の紙芝居	113人	6人	2人
10	6月23日	原田小学校 4 年生	小学校へ出向き、たまねぎの話、とよっぴーの話の出前講座	97人	4人	2人
11	6月27日	いもっこ倶楽部（未就学児公募）	じゃがいもの収穫	13人	11人	5人
12	6月29日	蛭池保育所	たまねぎの収穫	30人	3人	6人
13		西丘保育所	たまねぎの収穫	26人	3人	
14		まちづくり人権センター保育所	たまねぎの収穫	19人	3人	
15		泉丘小学校 4 年生	施設見学	125人	4人	

16		原田小学校 4 年生	たまねぎの収穫（翌日の学校給食に使用）	93 人	4 人	
17	7 月 13 日	北緑丘小学校 4 年生	クリーンランドで「にんじんくん」の紙芝居	101 人	6 人	2 人
18	7 月 29 日	とよっぴーキッズ倶楽部（小中学生公募）	大豆の収穫	20 人	14 人	7 人
19	10 月 21 日	とよっぴーキッズ倶楽部	さつまいもの収穫、小松菜の収穫	19 人	18 人	7 人
20		ボーイスカウト 22 団	さつまいもの収穫、小松菜の収穫	13 人	6 人	
22	10 月 23 日	子育て支援センターほっぺ	さつまいもの収穫、小松菜の収穫	69 人	67 人	7 人
23	10 月 24 日	てしま保育所	さつまいもの収穫	30 人	5 人	9 人
24	10 月 26 日	市民見学ツアー	さつまいもの収穫、クリーンランド見学後プラザへ	15 人	8 人	8 人
25	10 月 27 日	原田保育所年長	さつまいもの収穫	29 人	4 人	7 人
26	10 月 31 日	原田小学校 3 年生	さつまいもの収穫	84 人	11 人	10 人
27	11 月 2 日	さわ病院	さつまいもの収穫	0 人	9 人	8 人
28	11 月 9 日	豊島西小学校 5 年生	玉ねぎ植え付け、チンゲン菜収穫	81 人	4 人	9 人
29		仏光幼稚園	玉ねぎ植え付け、チンゲン菜収穫	46 人	8 人	
30	12 月 1 日	環境展市民収穫体験	大根、小松菜、ほうれん草の収穫	3 人	13 人	2 人
31	12 月 2 日	環境展市民収穫体験	大根、小松菜、ほうれん草の収穫	3 人	6 人	4 人
32		第 15 中学生	じゃがいも収穫	5 人	1 人	
33		ボーイスカウト 17 団	じゃがいも収穫	10 人	10 人	
34	12 月 18 日	豊島西小学校 5 年生	大根・じゃがいも収穫	73 人	3 人	11 人
35	3 月 9 日	じゃがいもっ子ひろば	じゃがいもの植え付け	14 人	13 人	7 人
合計：35 回				1,519 人	251 人	148 人
				1,770 人		

（５）食の循環活動

ア 野菜の頒布活動

回	実施日	実施場所	内容	販売野菜	提供農家	購入者数	スタッフ数
1	4 月 29 日	豊島公園	メーデー	きく菜、ほうれん草、レタス、ねぎ、苗：いちご、チンゲン菜、ほうれん草、サニーレタス	光久隆晴農園	70 人	3 人
2	6 月 10 日	くらしか	くらしか	たまねぎ、じゃがいも、ねぎ、	岸田農園	70 人	3 人

		ん	んバザー	だいこん、赤しそ、そらまめ、赤しそ苗	光久隆晴農園		
3	9月16日	くらしかん	「食の安全・安心をめざして」	たまねぎ、なす、ゆず、たかの爪、ゴーヤ、ピーマン、ししとう、とうがん、さつまいもつる	岸田農園 光久隆晴農園	80人	4人
4	10月21日	くらしかん	生活展	ほうれん草、なす、ししとう、きゅうり、ゆず、プロコッリー、わさびレタス、ねぎ、中抜き大根、しろ菜、小松菜、ゴーヤ、とうがん、ピーマン	岸田農園 光久隆晴農園	80人	5人
5	12月2日	市民会館	環境展	チンゲン菜、なす、ゆず、丸菜みぶな、青ねぎ、菊菜、サニーレタス、間引き菜、水菜、小松菜、ピーマン、ほうれん草、里芋、大根	岸田農園 光久隆晴農園	200人	6人
合計：5回						500人	21人

(6) 花いっぱい運動

堆肥を活用して公園や空間利用して花を育てることを通じてコミュニティを創造させる活動は現在、市内 29ヶ所に広がっています。毎年総会を兼ねて花の栽培講習会や活動交流を行っています。全団体の活動状況を調査し、ホームページで紹介する等、活動の広がりをさらに追求しています。また、「市花いっぱい運動写真展」には活動グループからも出展しました。

(7) 食育フォーラムの開催

前述したように、「2006年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業」の中間総括として「食育フォーラム」を開催しました。

(内容)

実施日 9月2日(土)午後1時30分～午後4時30分

場所 すてっぷホール

参加者 112人

内容 基調講演(題 持続可能な地域づくり)講師 内藤正明さん
パネルディスカッション(題 とよなか発!地産地消)

自治体関係者、市内農業者、保護者によるパネル討論を実施しました。

報告書 一連の活動及び基調講演並びにパネルディスカッションについて冊子を作成しました。

(8) 堆肥の製造過程における菌類の変遷及び付加価値実験

緑と食品のリサイクルプラザにおける堆肥製造工程での発酵・熟成期間にどのような菌類が有効に作用しているか検証する実験及び「とよっぴー」に他の有機肥料を混合させて作付けした玉葱の有効成分を検出する実験を竜谷大学環境ソリューション学科の協力を得て実施しました。その結果、菌類は発酵・熟成過程で有効に働いていることが証明されました。また、混合堆肥による玉葱の成分分析でも「とよっぴー」の効果が証明されました。

なお、同施設から排出される温暖化ガス類の検知調査も実施し、温暖化防止の役割を担う施設として機能しているかを調べる活動を実施しました。

(9) 保育所等での堆肥化支援

この間、要望のあった保育所等での堆肥化活動について可能な限り支援をする仕組みを構築してきました。本年度も小曾根保育所・本町保育所・てしま保育園での支援を行いました。生ごみ類を事業所完結型で堆肥にする取り組みとしては困難な面も活動を通じてありますが、事業所の主体性に依拠しつつ支援をする関係は今後も継続することとします。

なお、学校においては菜園支援化事業を正式にスタートさせています。

(10) 食育の推進

この間保健所等による関係者間での食育のための懇談会が開催されていますが、今後は豊中市における「食育推進基本計画」の策定を視野にしながら活動を強化することとなります。

(参考) 2006 年度 (平成 18 年度) 各部会・プロジェクトに参画した豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
	市民生活課生活情報センターくらしかん
	クリーンランド業務管理課
自然部会	公園みどり推進課
	環境政策室
	下水道管理課
	クリーンランド新炉建設課
産業部会	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
	商工労政課
	クリーンランド保全操作課
交通部会	環境政策室
	土木下水道総務課
	道路管理課
	まちづくり支援課
竹炭プロジェクト	公園みどり推進課
	クリーンランド業務管理課
企画屋本舗	環境政策室
花と緑のネットワークとよなか	公園みどり推進課
	廃棄物対策室減量推進課
	クリーンランド総務課

印：主担当

2006年度（平成18年度）収支計算書

2006年（平成18年）4月1日～2007年（平成19年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	決算額(イ)	差異(イ)-(ア)	備考
収入の部				
1 会費収入	950,000	730,000	220,000	
個人会費	200,000	190,000	10,000	1,000×190口
団体会費	750,000	540,000	210,000	5,000×108口
2 事業収入	219,500	373,575	154,075	参加費、頒布金等
3 助成金収入	1,854,300	2,187,982	333,682	NEDO、JT、大阪府
4 寄付金収入	500,000	718,767	218,767	
5 負担金収入	10,838,000	11,849,700	1,011,700	豊中市、大阪府
6 受託事業収入	1,408,000	1,528,000	120,000	豊中市
7 雑収入	1,000	2,937	1,937	預金利子
当期収入合計(A)	15,770,800	17,390,961	1,620,161	
前期繰越金	2,547,485	2,547,485	0	
収入合計(B)	18,318,285	19,938,446	1,620,161	
支出の部				
1 事業費				
外注費	1,000,000	945,030	54,970	環境展関係
什器備品費	420,700	818,465	397,765	
印刷費	1,649,000	1,688,894	39,894	
通信運搬費	395,200	364,197	31,003	
事務消耗品費	450,100	254,361	195,739	
旅費交通費	1,977,700	1,718,360	259,340	
諸謝金	879,998	892,955	12,957	
保険料	11,200	19,180	7,980	
賃借料	-	477,240	477,240	会場借上費等
雑費	658,800	245,847	412,953	
雑労務費	868,800	702,000	166,800	アルバイト代
事業費計	8,311,498	8,126,529	184,969	
2 管理費				
給与手当	8,035,000	8,099,090	64,090	職員2名
福利厚生費	30,000	23,482	6,518	事務局用お茶代等
賃借料	164,000	163,800	200	コピー機リース代
什器備品費	150,000	109,229	40,771	事務局備品等
印刷費	250,000	227,267	22,733	コピー代等
通信運搬費	120,000	74,925	45,075	電話、メール便等
事務消耗品費	240,000	180,388	59,612	文具、紙類等
旅費交通費	20,000	2,280	17,720	
保険料	38,000	33,000	5,000	ボランティア保険
雑費	25,000	21,375	3,625	手数料、印紙等
管理費計	9,072,000	8,934,836	137,164	
3 予備費	934,787	0	934,787	
当期支出合計(C)	18,318,285	17,061,365	1,256,920	
当期収支差額(A)-(C)	2,547,485	329,596	2,877,081	
次期繰越金(B)-(C)	0	2,877,081	2,877,081	

これまで雑費に含まれていた賃借料を科目として独立させた

2006年度(平成18年度) 貸借対照表

2007年(平成19年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,934,476	流動負債	1,057,395
現金	3,518	未払金	964,521
預金	2,465,235	預り金	92,874
三井住友	2,161,042		
労 金	304,193		
未収入金	959,077		
立替金	506,646		
固定資産	0		
		繰越金	2,877,081
合計	3,934,476	合計	3,934,476

2006年度(平成18年度) 財産目録

2007年(平成19年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

科目・摘要	金 額		
. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	3,518		
普通預金三井住友銀行	2,161,042		
普通預金近畿労働金庫	304,193		
未収入金	959,077		
立替金	506,646		
流動資産合計		3,934,476	
2. 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			3,934,476
. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	964,521		
預り金	92,874		
流動負債合計		1,057,395	
2. 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,057,395
正味財産			2,877,081


2006年度（平成18年度）事業報告及び決算に関する監査報告について


2006年度特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21事業報告、財産目録、貸借対照表、収支決算書について、関係書類、貯金通帳等を監査しましたところ、いずれも適正に執行管理されていることを認め報告いたします。

2007年（平成19年）6月8日

特定非営利活動法人
とよなか市民環境会議アジェンダ21
理事長 新開悦子様

監事

易 信子 

中井健之 

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2007 年度（平成 19 年度）事業計画（案）

1．全体方針

『活動の現状を踏まえ、地域全体をみつめたより効果的な取り組みへ』

2006 年に映画「不都合な真実」が公開され、2007 年に入ると気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第 4 次評価報告書が次々と発表・報道され、一般にも地球温暖化問題が注目されるようになりました。国際的には、主要国（G8）首脳会議で地球温暖化対策が議題になり、日本も率先的な取り組みが求められています。一方、豊中市でも、地球温暖化防止推進地域計画の策定作業が始まり、策定委員会では、2050 年からのバックキャストにより検討を進め、2007 年度内の策定を予定しています。

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 は、1992 年のリオサミットでの「アジェンダ 21」採択を受けて、とよなか市民環境会議が 1996 年に発足してから、1997 年の地球温暖化防止京都会議（第 3 回気候変動枠組条約締約国会議、COP3）での京都議定書の議決などを経て、10 年のあゆみの中で様々な取り組みを進めてきました。その当初の思いを再確認することも重要です。

ところで、「豊中アジェンダ 21」は、「豊中市環境基本計画」と理念・目標を共有しています。その目標として、7 つの環境目標を掲げています。この目標の達成度は、豊中市の環境報告書で毎年確認されていますが、2006 年度にはその環境報告書が改訂され、「豊中アジェンダ 21」に基づく市民・事業者の取り組みも掲載されるようになりました。「豊中アジェンダ 21」も環境目標をもとに評価し、改善することにより、より効果的な取り組みとなることが求められるようになりました。

そのためには、当法人だけでなく、これまでと同様、他団体、企業、地域組織、行政組織や学校等との連携の中で、それぞれの取り組みも進み広がるよう、地域全体をみつめることが必要だと考えます。

2007 年度は、このような考えに基づき活動を進めていきます。

2．全体事業

（1）NPO 法人運営

NPO 法人の組織運営のため、定款に基づき、総会、理事会、特別理事会等を随時開催し、法人としての意思決定、情報交流、活動の企画運営等を進めていきます。また、このような法人運営事務や活動全般の事務作業のため、事務局をおいています。

* 関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：85・86・88

（2）環境情報サロンの運営

豊中市から運営を受託し、活動の拠点である「環境情報サロン」については、より一層の活用を図っていきます。具体的には、環境情報サロンを使った行事、夏の日よけとヒートアイランド対策、緑化などに効果のある「緑のカーテン」の設置、豊島公園が会場となる豊中まつりでの PR などを行います。

* 関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：82・84・85

（3）「豊中アジェンダ 21」の進行管理

豊中アジェンダ 21 を PDCA サイクルで進行管理するため、評価方法等を確立し、豊中市の環境報告書と合わせた仕組みを検討します。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・86

(4) 「(仮称)協働の方程式(10年のあゆみ)」作成

1996年に設立した「とよなか市民環境会議」の10年のあゆみをまとめます。これは、今後行われる豊中アジェンダ 21 の本格見直しの際に、参考資料としても活用できるようにします。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：85・86

(5) とよなか市民環境展 2007 の開催

環境基本計画と共有する環境目標の中に、協働・パートナーシップ型活動の指標として環境展の参加者数があげられていることから、今年度の環境展についてもより充実したものにしていきます。今年度は12月7日(金)・8日(土)に開催する予定です。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・80・85・86

(6) 服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業

大阪府池田土木事務所、豊中市と協働で事務局運営を行い、地域の組織や団体が主体的に地域の環境づくりに関わられるような取り組みを進めていきます。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・24・27・33・34・74・76・77・79・80

(7) ESD とよなか事業

国連「持続可能な開発のための教育(ESD)」の10年にあわせ、豊中で具体的な取り組みを進めるために、当法人の役割を明確にして参加していきます。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：76・77・78・79・80・81・82・83

(8) 多様な団体との連携事業

豊中市内外の環境分野以外の団体も含めた多様な組織・団体と連携し、様々な機会、様々なスタイルで、イベントや行事、事業に参加していきます。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・80・85

(9) 広報活動

豊中アジェンダ 21 を進める活動をより多くの人に知ってもらうため、ニュースレターやホームページ、イベントでの展示など、多様な情報媒体を利用して情報の発信を行っていきます。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：85・86

3. 生活部会

(1) エコライフカレンダーをつけて地球環境を守ろう

- ・エコライフカレンダー(環境家計簿)による省エネ型ライフスタイルの普及啓発
- ・家庭での電気・灯油・ガス・水道・ガソリンなどのエネルギーの節減や無駄使いを見直すため、環境家計簿を組み込んだ豊中市民版エコライフカレンダーを作成し、豊中市民を対象に、各家庭での省エネ、効率的なエネルギー利用の普及啓発を行う。

- ・2008年版エコライフカレンダー（環境家計簿）を2500部作成し、とよなか市民環境会議各種団体150団体、とよなか市民環境会議アジェンダ21会員、前年のモニターのほか、市広報誌や出前環境学習・市民環境展を通じて配布し、省エネルギーの普及啓発とモニターを募集する。
- ・環境家計簿のモニターから寄せられた、各家庭での二酸化炭素の排出量を集計分析することにより、一般的な豊中市民の二酸化炭素の排出量のモデルを把握、省エネ効果の見定めることに役立つ。
- ・モニター倶楽部（モニター通信）の発行（年3～4回）
- ・省エネルギーの環境学習会を開催して、効率的なエネルギー利用について理解を深める。
- ・エコライフカレンダー印刷費、省エネルギー学習会の費用はNEDOの補助金を申請する。

* 関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：4

（2）環境学習（環境教育）で環境人を育て増やそう

- ・電気・ガス・水道など、家庭のエネルギーの上手な使い方について学ぶ
- ・省エネ体験学習会の開催
- ・環境学習のメニューづくりと指導員の育成
- ・外部講師による環境勉強会
- ・環境関連施設の見学会
- ・新エネルギーについて学ぶ

* 関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：76・77・78

（3）地球温暖化の防止と省資源・循環の暮らしを推進しよう

- ・環境に配慮した商品の市場拡大のための学習会
- ・グリーンコンシューマーに関する学習会、シンポへの参画
- ・暮らしの中でごみを減らし再資源化を促進するために、何ができるかを考え学ぶ
- ・エコショップの調査
- ・リユースバザーの開催
- ・エコ料理講習会の開催
- ・省資源・循環についての研修会・学習会の開催
- ・環境関連資料の収集と調査

* 関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：6・7・11・12・14

4．自然部会

昨年度から、「豊中の自然が無くなってしまふ……ことのないように」を合言葉に活動しています。

今年度は1962年にSILENT SPRING（沈黙の春）を著し人間の自然環境破壊に警鐘を鳴らしたアメリカの科学者レイチェル・ルイーズ・カーソンの生誕100年にあたります。映画「センス・オブ・ワンダー」の上映会を2001年豊中まつり共催で開催して、多くの市民と共に彼女からのメッセージを受け取った自然部会は、豊中の自然を残すことに重点をおき活動してきました。

昨年9月に大阪府から豊中市に移管された島熊山緑地は、豊中市民にとっても宝ものですが、周囲を開発され続けながら今も、生き長らえている生き物たちのかけがえのない棲みかです。

地域自治会、自然保護活動団体とともに島熊山の有り様を話し合い、学習し、保全活動を継続します。

(1) 豊中の自然を守る活動

- ・島熊山の自然を守る活動 4月、6月、11月、1月(年4回)
雑木林に侵入した竹の伐採、倒木、枯枝の整理(島熊山緑地内)
市民、地域へ参加を呼びかける
- ・猪名川の自然林を守る活動
市民、地域へ参加を呼びかける
枯れが目立つ場所を重点に保水(土留め、落葉留まり)の作業
- ・天竺川の自然を守る活動
付近の小学校へも参加を呼びかける(川床のごみ清掃)
- ・羽鷹池の自然を守る活動
池周辺のクズ刈り、草の手刈り

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:24・25・26・27・34

(2) 自然学習講座

- ・年3回シリーズ。アジェンダ会員と市民が行政・企業と協働し、豊中の自然を守り育て、豊かにするための学習会。
- ・新修豊中市史「自然編」発刊時よりスタート
- ・テーマ「豊中の自然を見つめみんなで考えよう」
- ・1999年から年3回継続(24回)
2007年度は、25回~27回となる

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:21・24・25・26・30・31・34

(3) 自然ふしぎ発見クラブ

- ・四季を通して身近な自然体験(五感を使った自然観察会と野遊び、クラフト等を子どもとその保護者を対象とする)
- ・プログラム案は以下のとおり(6回開催)
 - 4月 若竹観察と竹炭焼き見学(千里中央公園)
 - 6月 セミとセミの抜け殻観察(千里中公園)
 - 8月 バッタと遊ぼう(春日町ヒメボタル保護草地)
 - 10月 どんぐりをつくろう(千里中央公園)
 - 12月 冬休み自然工作(くらしかん)
 - 1月 七草粥とおちばたき(千里中央公園)

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:22・24・25

(4) 自然観察会

- ・自然観察会(初夏)
- ・水生生物観察会(千里川)
- ・鳴く虫観察会(服部緑地)
- ・冬の水鳥観察会(服部緑地)
広く市民参加を呼びかける

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:22・24・25

(5) 身近な生き物調査・千里川の魚類調べ

- ・箕面市に水源を持ち、猪名川に合流する千里川の魚類を中心に生き物の観察会をかねた調査を実施
- ・上流域、中流域、下流域の3ポイントを調査
- ・1回目 6月 北緑丘団地上水田橋付近
- ・2回目 7月 箕輪橋地域 水生生物観察会と同時実施
- ・3回目 9月 猪名川との合流地付近 自然部会その他希望者で(公募はしない)

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:21・22・27

(6) 春日町竹林・草地の整備

- ・ヒメボタル生息地の竹林、草地の整備
- ・竹の間伐、草刈り 年間3~4回
- ・ヒメボタル保護者会のメンバーとして、地域と行政との協働をはかる

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:24・25

(7) ビオトープづくり

上野坂公園の自然を育てる(ビオトープ池)

- ・上野丘自治会と公園みどり推進課と協働する
- ・自然の変化を記録する

新たなビオトープ作りに対応

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:33・34

(8) 稀少種調査(植物)まとめと古木・巨木調査

- ・2002年5月からの継続事業
- ・これまで中間報告を作成、報告会を実施し、その後補充調査を実施
- ・絶滅危惧種について、リスト上で判定し、保全の対策を考え、実行する。
 - 1) 広く市民への告知の為にマップ作り
 - 2) データの確定と調査書の印刷

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:21・24・25・26・30

(9) 定例会などの会議、その他

- ・月1回定例会、必要により臨時部会
- ・豊中まつり
- ・生活展
- ・環境展
- ・くらしかん生活情報ひろば
- ・行政・学校・地域への協力事業
(出前教室、くらしかん、スプリングフェスタ、ふれあいウォーク、かんきょうフェスタ(大阪府) きんき環境館)

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:21~37・42・76~86

5. 産業部会

(1) 勉強会

- ・とよなかの「環境報告書」を知って・考える会

5月11日(水)約3時間

「とよなかの環境」-豊中市域の環境はどうなっているの

公表された「環境報告書」の見やすさ、知りたい事などについてディスカッション

「とよなかの環境」-豊中市の環境をどうして行くの-

- ・豊中市の環境関連法の勉強会 -主に環境保全条例-

8月上旬 約3時間

豊中市環境基本条例・環境保全推進条例の規制内容

国の法規制と大阪府条例との関係:上乗せ規制等

自社に適用される法規制と法令の改正情報について

- ・化学物質の管理と環境リスク管理 -主にPRTR法と公表データの活用-

3月下旬 約2時間

PRTR法の概要と公表データから判ること

企業の化学物質の管理方法と環境リスクの低減

自社の化学物質の管理とMSDS票の活用について

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:38~56

(2) 見学会

- ・事務用紙再生ルートの見学 -製紙工場と古紙問屋の見学-

- ・新聞の印刷工場の見学 -新聞印刷現場の見学と環境ISOの説明-

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:38~56

(3) 産業部会の開催

以下の内容を検討する。(3回程度)

- ・今年度の産業部会事業計画の確定
- ・機密書類リサイクルプロジェクトの継続の可能性検討
- ・環境展に向けて事業者が出来ること
- ・事業者の取り組みの整理
- ・市内で見学が可能な企業リスト作成
- ・環境展で「とよなかの事業者の取り組み」内容の紹介
- ・今年度のふりかえりと次年度の取り組み

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:38~56

6. 交通部会

(1) EST事業での連携

豊中市のEST(環境的に持続可能な交通)モデル事業の中で、市民・事業者・行政などが連携して行う事業について市と協働を進める。

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:57~75

7. 竹炭プロジェクト

千里中央公園に於ける竹の間伐作業も4年半が経過して一巡しました。出発点に戻り再スタートする事にしましたが、現竹林以外にも間伐や整備が必要な箇所がある事が分かりました。体育館裏の竹の間伐 安場池上方(吹田市寄り)の竹の間伐と整備 尾根筋路の整備など。今年度も竹林間伐と竹炭焼きを中心とした事業に変わりはありませんが、 、 、 を19年度の通常業務の間に組み入れながら作業を進めて参ります。

19年度計画は下記のとおりです。(活動拠点：千里中央公園)

(1) 竹の間伐作業 22回

毎月ほぼ2回を予定

(2) 竹炭焼き 8回

夏季及び日の短い時期を除き上記程度を予定、竹の有効活用として実施

(3) 会議 (公園管理事務所)

竹炭プロジェクト総会(4月)と4半期毎打ち合わせ会議4回

(4) 製品作り 6回

すすや埃を払いカットして袋詰め作業

(5) 整備と清掃 6回

公園内の土留作業を4回と竹林の清掃を2回予定

(6) 竹工作 8回

イベント時に竹細工や小枝などを使った自然工作

(7) 製品頒布 7回

イベント時に竹炭、竹酢液の製品頒布を行います。

(8) 調査と視察

会員の研修を兼ねて炊さん場及び竹林内の植物観察と公園内の野鳥や昆虫の観察を行います。

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：21・22・23・24・33・34

8. 企画屋本舗

(1) わがまちとよなか再発見！ちょっといいとよなか見つけにいこかウォーク

- ・豊中の自然、文化、歴史等の環境を楽しく知るために、「まち」を切り口にウォーキングをおこなう。
- ・環境分野以外の人達や、地元の人達との連携ができる内容にする。
- ・豊中の環境を考えてもらうため、誰でも参加しやすいようにハードルが低く、楽しめる企画をおこなう。

*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：70・74・79・80・81・85

(2) 定例会などの会議、その他作業等

打合せ、準備作業他を行う。

9. 花と緑のネットワークとよなか

(1) 食の循環事業の推進

(とよっぴー)を市内農業者の協力を得て田畑に使用することを通じ減農薬・減化学肥料栽培や、あるいは無農薬・無化学肥料による有機性栽培によって生産される作物類を地域で消費する活動(地産地消)の推進を図ります。また、給食食材の地場産納入の推進に向けて関係者との連携を強めます。

- ・くらしかんバザーやイベント及び環境展での栽培作物の直産有償頒布活動の実施

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：13・14・37

(2) 花いっぱい運動の推進

地域の空地や公園等の土地空間を利用して(とよっぴー)を使った花栽培(花壇)のネットワーク(花いっぱい運動ネットワーク)の拡大を追求します。

- ・花いっぱい運動ネットワークの交流の強化
- ・花の栽培を通じたコミュニケーションの深化と豊中アジェンダ 21 活動の普及
- ・花いっぱい運動写真展の応募と表彰制度の追求

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：32・35・36・37・85

(3) 環境学習の推進

(とよっぴー)農園を活用した農体験型環境学習や緑と食品のリサイクルプラザの施設見学を通じた有機性資源の有効活用に関する環境学習を実施します。また、クリーンランド見学者に対する堆肥化事業の宣伝や小中学校等に出向した出前環境学習を「農と食」あるいは「堆肥化」を基軸に実施します。

また、セブンイレブンみどりの基金助成を受けた「(名称)とよっぴー農園を活用した農体験と食育活動」を多様な団体参加を得て実施します。

- ・小学生向け施設見学パワーポイントの新規製作
- ・「堆肥化ビデオ」の活用
- ・(とよっぴー)紙芝居の活用

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：36・76・77

(4) 循環型社会形成推進活動の推進

緑と食品のリサイクルプラザ事業を核として有機性資源の有効活用を通じた資源循環型社会の形成のための活動を協働の観点強化しつつ推進します。

- ・(とよっぴー)の有効活用と活用者との連携
- ・食育の立場からの給食食材の地場産納入による食の循環活動
- ・地球温暖化防止の役割と生ごみ排出量の削減及び有機性資源の有効活用の促進のための堆肥化講習会の実施と堆肥化活動助成制度の推進
- ・施設見学者に対する有効的な応接と説明による交流拡大及び環境学習の強化
- ・農体験型環境教育及び体験関係者に対する環境教育の実施

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：6・8・12・13・14・15・19・20・22・23・29・36・37・77・78・79・80・85・86

(5) セブンイレブンみどりの基金の助成事業の推進(再掲)

(とよっぴー)農園等を活用した作物栽培体験事業「(名称)とよっぴー農園を活用した農体験と食育活動」の積極的な推進を図るなかで、農体験を実感するとともに食の大切さを啓発することで「食育」の強化に発展させます。

- ・関係者による事業報告会の開催
- ・事業報告書の作成

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：8・14・20・85

(6) 学校等菜園支援化事業の推進

小学校等を対象に施設内菜園での作物栽培に関する支援を食育の観点から実施します。また、保育所等での同様の取り組みを検討します。

- ・菜園指導及び支援体制の確立
- ・菜園支援を通じた環境教育の実践

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：13・14・20・36・77・78・83・84・85

(7) 「第2回とよっぴー祭り」の開催

緑と食品のリサイクルプラザ開設5周年を記念して標記の祭りを開催します。前回は7月に開催しましたが、今回は天候等も考慮し10月に開催します。当日は(とよっぴー)農園での栽培作物である「さつまいもの収穫祭」も兼ねて実施することとし、連携する関係者による実行委員会を設置し成功を図ります。

- ・地産地消の普及啓発の促進
- ・関係者間の連携強化
- ・各活動団体の出展による宣伝

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：13・14・20・29・83・84・85・86

(8) 定例会等の会議、その他

毎月1回(第2火曜日)に定例会を実施します。また、年次総会を毎年6月開催(事業報告・事業計画等)します。なお、年1回先進地の見学学習会を実施します。その他では、(とよっぴー)倶楽部の活動強化及び会員拡大を図ります。

*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：13・14・20・29・83・84・85・86

(参考) 2007年度(平成19年度)各部会・プロジェクトに参画している豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境部 環境政策室
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	市民生活部 市民生活課
	豊中市伊丹市クリーンランド 業務管理課
自然部会	環境部 公園みどり推進課
	環境部 環境政策室
	土木下水道部 下水道管理課
	豊中市伊丹市クリーンランド 新炉建設課
産業部会	環境部 環境政策室
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	市民生活部 商工労政課
	豊中市伊丹市クリーンランド 保全操作課
交通部会	環境部 環境政策室
	土木下水道部 土木下水道総務課
	土木下水道部 道路管理課
	まちづくり推進部 まちづくり支援課
竹炭プロジェクト	環境部 公園みどり推進課
企画屋本舗	環境部 環境政策室
花と緑のネットワークとよなか	環境部 公園みどり推進課
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	豊中市伊丹市クリーンランド 総務課

印：主担当

2007年度（平成19年度）収支予算書

2007年（平成19年）4月1日～2008年（平成20年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	前年度予算額(イ)	増減(ア)-(イ)	備考
収入の部				
1 会費収入	950,000	950,000	0	
個人会費	200,000	200,000	0	1,000×200口
団体会費	750,000	750,000	0	5,000×150口
2 事業収入	236,000	219,500	16,500	参加費、頒布金等
3 助成金収入	1,050,290	1,854,300	804,010	NEDO、セブンイレブン
4 寄付金収入	500,000	500,000	0	
5 負担金収入	11,438,000	10,838,000	600,000	豊中市、大阪府
6 受託事業収入	1,408,000	1,408,000	0	豊中市
7 堆肥頒布事業収入	2,009,928	-	2,009,928	今年度より組み入れ
8 雑収入	3,000	1,000	2,000	預金利子等
当期収入合計(A)	17,595,218	15,770,800	1,824,418	
前期繰越収支差額	2,877,081	2,547,485	329,596	
収入合計(B)	20,472,299	18,318,285	2,154,014	
支出の部				
1 一般事業費				
外注費	700,000	1,000,000	300,000	環境展関係
消耗什器備品費	931,300	420,700	510,600	
印刷費	1,740,250	1,649,000	91,250	
通信運搬費	446,000	395,200	50,800	
事務消耗品費	495,000	450,100	44,900	
旅費交通費	1,450,800	1,977,700	526,900	
諸謝金	915,000	879,998	35,002	
保険料	30,600	11,200	19,400	
賃借料	435,000	-	435,000	会場費、レンタル代等
雑費	212,640	658,800	446,160	振込手数料等
雑労務費	5,000	868,800	863,800	
一般事業費計	7,361,590	8,311,498	949,908	
2 堆肥頒布事業費	2,009,928	-	2,009,928	今年度より組み入れ
3 管理費				
給与手当	8,319,000	8,035,000	284,000	職員2名
福利厚生費	25,000	30,000	5,000	事務局用お茶代等
賃借料	164,000	164,000	0	コピー機リース代
什器備品費	120,000	150,000	30,000	事務局備品等
印刷費	230,000	250,000	20,000	コピー代等
通信運搬費	80,000	120,000	40,000	電話、メール便等
事務消耗品費	200,000	240,000	40,000	文具、紙類等
旅費交通費	10,000	20,000	10,000	
保険料	35,000	38,000	3,000	ボランティア保険
雑費	25,000	25,000	0	手数料、印紙等
管理費計	9,208,000	9,072,000	136,000	
4 予備費	1,892,781	934,787	957,994	
当期支出合計(C)	20,472,299	18,318,285	2,154,014	
当期収支差額(A)-(C)	2,877,081	2,547,485	329,596	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

これまで雑費に含まれていた賃借料を科目として独立させた

特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21 定款

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この法人は、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 (略称 N P O 法人エコ市民豊中) という。英語名を Toyonaka Citizens Environmental Conference A G E N D A 2 1 とする。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪府豊中市曾根南町 1 丁目 4 番 3 号 豊中市環境情報サロン内に置く。

(目的)

第 3 条 この法人は、地域社会とそこに生活する市民、さらには未来を担う世代のために、安心して暮らせる環境が確保できるよう、かけがえのない地球環境の形成とやさしさに溢れた地域社会を目指した「豊中市環境基本計画」の理念及び目標と一致する市民活動計画である「豊中アジェンダ 21」の推進を図ることを通じて、持続的発展が可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(活動に係る種類)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法(以下「法」という。)第 2 条別表中、次の各号に掲げる特定非営利活動を行う。

- 環境の保全を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 子どもの健全育成を図る活動
- 地域安全活動
- 国際協力の活動
- 経済活動の活性化を図る活動
- 消費者の保護を図る活動
- 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業に係る種類)

第 5 条 この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- 1 特定非営利活動に係る事業
 - 環境の保全に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
 - 環境と調和し共生したライフスタイルの調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
 - 環境と調和した持続的発展が可能な地域社会を創造するための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
 - 環境と調和したまちづくり推進のための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
 - 環境教育の推進に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
 - 環境活動を通じた子どもの健全育成に関する調査研究及び実践の事業
 - 環境保全活動に関する国際交流や国際協力の事業
 - 地域の安全、文化などにおける分野での環境に関する政策の提言及び政策推進の事業
- 2 その他目的を達成するために必要な活動

第 2 章 会員

(種別)

第 6 条 この法人の会員は、次の 3 種とし、正会員をもって法上の社員とする。
正会員

第3条に規定する目的に賛同して入会した個人又は団体。

賛助会員

第3条に規定する目的に賛同して、この法人の事業を援助する個人又は団体。

特別会員

第3条に規定する目的に賛同して、この法人の健全な発展と政策立案並びに諸活動に関し、助言・協力する学識経験者等の個人で理事会が推薦する者。

(入会)

第7条 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、その旨を記載した入会申込書を理事長に提出し、その承諾を受けなければならない。

2 理事長は、前項の申し込みについては、正当な理由がない限り入会を認めることとするが、入会を認めない場合は、理事会の承認を経た上で、その理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

3 理事会から特別会員に推薦された者は、入会の手続きを必要とせず、本人の承諾をもって会員となる。

(会費)

第8条 正会員及び賛助会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

2 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなすことができる。

本人が死亡又は会員である団体が消滅したとき。

会費を1年以上滞納し、相当の期間を定め催告してもこれに応じず、理事会において支払いの意思がないと認定した者。

(除名)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合は、総会において社員総数の3分の2以上の議決により除名することができる。

ただし、その会員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

法令又はこの法人の定款に違反したとき。

この法人の秩序を著しく害し、又は、公序良俗に反する行為をしたとき。

この法人の名誉を棄損し、又は設立の目的に違反する行為をしたとき。

(会費などの不返還)

第11条 この法人は、すでに会員が納入した会費及びその他の拠出金品はその理由を問わず、これを返還しない。

第3章 役員

(役員の種類及び定数)

第12条 この法人に次の役員を置く。

理事 13人以上 20人以内

監事 2人以上 3人以内

(役員を選任)

第13条 役員は、総会において正会員又は正会員である団体の代表者の中から選任する。

2 理事のうち、1人を理事長、2人以内を副理事長とする。

3 理事長及び副理事長は理事の中から互選により定める。

4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が、役員総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。

- 5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総括する。

- 2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる業務を行うものとし、その執行にあたって必要なときはいつでも理事に対して報告を求め、調査することができる。
理事の業務執行の状況を監査すること。
この法人の財産の状況を監査すること。
前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は大阪府知事に報告すること。
前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
理事の業務執行状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期)

第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により再任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選出されていないときは、その任期を、任期の末日後、最初の社員総会が終結するまで伸長する。

(欠員補充)

第16条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第17条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決に基づいて解任することができる。

- ただし、その役員に対し議決の前に弁明の機会を与えなければならない。
- 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- 職務上の義務違反、その他役員として相応しくない行為があると認められるとき。

(役員の報酬)

第18条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その業務執行に必要な費用を支弁することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、予算の範囲内で理事会の議決を経て別に定める。

(顧問)

第19条 役員の外に、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は理事会において選任する。
- 3 顧問の任期は2年とする。
- 4 顧問は、理事長より相談ごとの申請があれば、その解決のために努力する。

第4章 総会

(総会)

第20条 総会は、この法人の最高の意思決定機関であって正会員をもって構成する。

- 2 総会は、通常総会と臨時総会とする。

(総会の機能)

第 21 条 総会は以下の事項について議決する。
定款の変更
解散及び合併
事業計画及び収支予算の承諾
事業報告及び収支決算の承諾
役員を選任又は解任、及び職務
会費の額
長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
その他理事会において重要と認め報告された事項
その他運営に関する重要事項

(開催)

第 22 条 通常総会は、毎年 1 回開催とする。
2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
理事会が必要と認めたとき。
正会員の 5 分の 1 以上から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
監事が第 14 条第 4 項第 4 号の規定により招集したとき。

(総会の招集)

第 23 条 総会は、前条第 2 項第 3 号の場合を除き理事長が招集する。
2 理事長は前条第 2 項第 2 号の規定による請求があった場合は、その日から 30 日以内に臨時総会を招集しなければならない。
3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(議長)

第 24 条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選任する。

(総会の定足数)

第 25 条 総会は、正会員の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第 26 条 総会における議決事項は、第 23 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。
2 総会の議決事項はこの定款に規定するもののほか、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議決に加わることはできない。

(総会における議決権等)

第 27 条 正会員の議決権は、1 人又は 1 団体につき、1 単位とする。
2 やむをえない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ書面をもって議決し、又は他の正会員を代理人として議決を委任することができる。
3 前項の場合における前 2 条の規定の適用については、その正会員は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第 28 条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。
日時及び場所
正会員の現在数
出席した正会員の数(書面表決者及び表決委任者については、その旨を明記すること)

審議事項及び議決事項
議事の経過の概要及びその結果
議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、その会議において出席した正会員の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第30条 この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

総会に付すべき事項
総会の議決した事項の執行に関する事項
その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第31条 理事会は、次の各号のいずれか該当する場合に開催する。

理事長が必要と認めたとき。
理事現在数の4分の1以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。

(招集)

第32条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事会を招集するときは、審議に付すべき事項並びに日時及び場所を示した書面をもって、少なくとも開催日の5日前までに、理事に対し、通知しなければならない。
ただし、全理事の出席と同意がある場合は、この招集手続きを経ずして直ちに開催することができる。

(議長)

第33条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決等)

第34条 理事会は、理事現在数の過半数以上の出席がなければ開会することができない。

- 2 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席理事の過半数をもって決する。

(議事録)

第35条 理事会の議事については、議長において議事録を作成し、議長及び出席理事の中から選任された議事録署名人1人が署名押印する。

第6章 特別理事会及び委員会設置等

(特別理事会)

第36条 第6条第3号で定める特別会員により、この法人の事業活動並びに活動計画等を専門的立場から検証・評価・提案するための機関として、特別理事会を設置することができる。

- 2 特別理事会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会において定める。

(委員会等)

第37条 理事会は、事業の円滑な執行を図るため、委員会、研究会又は部会及びプロジェクト(以下「委員会等」という。)を設置することができる。

- 2 委員会等は、その目的とする事項について、調査研究、又は事業を執行する。
- 3 委員会等の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

第7章 資産、会計及び事業計画

(資産の構成)

- 第38条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。
- 財産目録に記載された財産
 - 会費
 - 寄附金品及び助成金
 - 財産から生じる収入
 - 事業に伴う収入
 - その他の収入

(資産の管理)

- 第39条 資産は理事会の議決を経て理事長が管理し、その方法は、理事長が別に定める。

(会計の原則)

- 第40条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(経費の支弁)

- 第41条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(特別会計)

- 第42条 この法人の会計は、必要に応じて特別会計を設けることができる。

(事業計画及び予算)

- 第43条 この法人の事業計画及び収支予算は、理事長が作成し、総会の承諾を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。
- 2 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決を経て、予算の追加又は更正することができる。
ただし、追加又は更正した予算は、直近の総会で報告しなければならない。

(予備費の設定及び使用)

- 第44条 前条に規定する予算には、予算経過又は予算外の支出に充てるため、予備費を設けることができる。
- 2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

- 第45条 第43条の規定にかかわらず、やむを得ない事由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じて収入支出することができる。
- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

- 第46条 理事長は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承諾を得なければならない。
- 2 会計の決算上、剰余金が生じたときは、翌事業年度の繰り越すものとし、構成員に分配してはならない。

(臨機の措置)

- 第47条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借り入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第 48 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 8 章 事務局

(設置)

第 49 条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 1 事務局には、事務局長とその他の職員を置くことができる。
- 2 事務局の職員は、理事長が任命する。
- 3 理事は事務局長、若しくは事務局員を兼任することができる。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

(備置き書類)

第 50 条 事務局は主たる事務所において、特定非営利活動促進法第 28 条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかなければならない。

会員名簿及び会員の異動に関する書類
収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

第 9 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 51 条 この定款の変更は、総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を経なければならない。

(解散)

第 52 条 この法人は、次に掲げる事由によって解散する。

総会の決議

目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

正会員の欠亡

合併

破産

大阪府知事による設立の認証の取り消し

- 2 前項第 1 号の事由による解散に関する議事は、正会員総数の 3 分の 2 以上の議決を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第 53 条 この法人が解散したとき(合併又は破産による解散を除く)に有する残余財産は、総会の議決を経て、次の各号のいずれかに該当するものに譲渡する。

特定非営利活動法人

民法第 34 条に規定により設立された法人

(合併)

第 54 条 第 52 条第 2 項規定は、合併に関する事項に準用する。

第 10 章 雑則

(公告)

第 55 条 この法人の公告は主たる事務所に掲示するほか、官報により行う。

(委任)

第 56 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- 1 この定款は、この法人の設立の日から施行する。
- 2 この法人の設立時の会費は、第8条の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものとする。
 - 正会員
 - 個人 会費年額一口 1,000円
 - 団体 会費年額一口 5,000円
 - 賛助会員
 - 個人 会費年額一口 1,000円
 - 団体 会費年額一口 5,000円
- 3 この法人の設立当初の役員並びに役職は、第13条第1項及び第3項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとし、その任期は第15条第1項の規定にかかわらず2004年(平成16年)6月30日までとする。
 - 理事長
河野猪太夫
 - 副理事長
茨木かづ子、新開 悦子
 - 理事
上田 峯子、易 信子、大岡 一馬、奥野 享、高島 邦子、中村 義世
堀 正恒、水野 辰彦、三宅 史郎、宮田 健、山本 和市、山口 壽
 - 監事
今井 文子、中井 健之
- 4 この法人の設立年度の事業計画及び収支予算は、第43条第1項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 5 この法人の設立初年度の事業年度は、第48条の規定にかかわらず、成立の日から平成16(2004)年3月31日までとする。

特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21

設立代表者氏名 河野猪太夫

平成16年6月25日改正

平成18年6月21日改正